

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度【リテラシーレベル】令和8年度申請用

様式1

大学等名	金城大学
プログラム名	数理・データサイエンス・AIリテラシープログラム

リテラシーレベルのプログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件	学部・学科によって、修了要件は相違する
② 対象となる学部・学科名称	人間社会科学部
③ プログラム履修必須の有無	令和10年度以降に履修必須とする計画、又は未定
④ 修了要件	必修科目2単位

⑤ プログラム構成科目

必要最低科目数・単位数	2	科目
	2	単位

		モデルカリキュラム対応状況																						
授業科目	単位数	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8	4-9	その他		
(1) 必須科目 (プログラムを修了するために必ず履修しなければならない科目)	情報処理演習 I	1						○	○	○	○	○												
	データサイエンス	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
※卒業要件上の必修科目とは必ずしもイコールではない																								
(2) 選択必須科目 (プログラムを修了するために一定の条件のもと履修しなければならない科目)																								
(3) 選択科目 (プログラムを構成する科目のうち「必須科目」「選択必須科目」のいずれにも該当しない科目)																								

⑥ プログラムを構成する授業の内容	
授業に含まれている内容・要素	授業に含まれているスキルセットのキーワード

(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	・ビッグデータ、AI、生成AI、データ量の増加、計算機の処理性能の向上、データ駆動型社会、人間の知的活動とAIの関係性、データを起点としたものの見方「データサイエンス」1回目
	1-6	・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、強化学習、転移学習、生成AIなど)「データサイエンス」6回目 ・AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど)「データサイエンス」7回目
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど、1次データ、2次データ、データのオープン化(オープンデータ)「データサイエンス」1回目
	1-3	・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)、マーケティング、サービス、活動代替、新規生成など、翻訳・要約・執筆支援「データサイエンス」7回目
(3) 様々なデータ利用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	・AIとビッグデータ「データサイエンス」1回目 ・データ解析: 予測、グルーピング、パターン発見、最適化、データ可視化: 複合グラフ「データサイエンス」6回目 ・画像／動画処理、音声／音楽処理など「データサイエンス」7回目
	1-5	・金融、サービス、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用「データサイエンス」7回目
(4) 活用に当たった様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	・個人情報保護、プライバシー保護「情報処理演習Ⅰ」1回目 ・データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、データ・AI活用における負の事例紹介、生成AIの留意事項(偽情報や有害コンテンツの生成・氾濫など)「データサイエンス」2回目
	3-2	・情報セキュリティの3要素(機密性、完全性、可用性)、ユーザ認証、パスワード、悪意ある情報搾取、情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「情報処理演習Ⅰ」1回目 ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介、サイバーセキュリティ「データサイエンス」2回目
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	・データの種類(量的変数、質的変数)、母集団と標本抽出(アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出)「情報処理演習Ⅰ」2回目～15回目 ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)、データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)、相関と因果(相関関数、疑似相関、交絡)、クロス集計表、統計情報の正しい理解(誇張表現に惑わされない)「データサイエンス」3回目～6回目
	2-2	・データ表現(棒グラフ、折れ線グラフ、散布図)「情報処理演習Ⅰ」2回目～15回目 ・データ表現(箱ひげ図)、データの比較(条件を揃えた比較、処理の前後での比較)、相手に適格かつ正確に情報を伝える技術や考え方(スライド作成など)「データサイエンス」3回目～6回目
	2-3	・データの集計(和、平均)、データの並び替え、ランキング「情報処理演習Ⅰ」2回目～15回目 ・データの取得(機械判読可能なデータの作成・表記方法)「データサイエンス」3回目～6回目

⑦プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

- ①データ・AI活用領域の広がりを理解し、データ活用の意義や課題を説明できる。
- ②データを適切に読み解き、適切な可視化手法を選択し、他者にデータを説明できる。
- ③データを適切に利活用するためには、客観的な事実を確認したうえで利用することが重要であることを理解できる。

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度【リテラシーレベル】令和8年度申請用

様式1

大学等名	金城大学
プログラム名	数理・データサイエンス・AIリテラシープログラム

リテラシーレベルのプログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件	学部・学科によって、修了要件は相違する
② 対象となる学部・学科名称	医療健康学部
③ プログラム履修必須の有無	令和10年度以降に履修必須とする計画、又は未定
④ 修了要件	必修科目2単位

⑤ プログラム構成科目

必要最低科目数・単位数	2	科目
	2	単位

		モデルカリキュラム対応状況																						
授業科目		単位数	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8	4-9	その他	
(1) 必須科目 (プログラムを修了するために必ず履修しなければならない科目)	情報処理演習	1							○	○	○	○	○											
	データサイエンス	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											
※卒業要件上の必修科目とは必ずしもイコールではない																								
(2) 選択必須科目 (プログラムを修了するために一定の条件のもと履修しなければならない科目)																								
(3) 選択科目 (プログラムを構成する科目のうち「必須科目」「選択必須科目」のいずれにも該当しない科目)																								

⑥ プログラムを構成する授業の内容	
授業に含まれている内容・要素	授業に含まれているスキルセットのキーワード

(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	・ビッグデータ、AI、生成AI、データ量の増加、計算機の処理性能の向上、データ駆動型社会、人間の知的活動とAIの関係性、データを起点としたものの見方「データサイエンス」1回目
	1-6	・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、強化学習、転移学習、生成AIなど)「データサイエンス」6回目 ・AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど)「データサイエンス」7回目
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど、1次データ、2次データ、データのオープン化(オープンデータ)「データサイエンス」1回目
	1-3	・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)、マーケティング、サービス、活動代替、新規生成など、翻訳・要約・執筆支援「データサイエンス」7回目
(3) 様々なデータ利用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	・AIとビッグデータ「データサイエンス」1回目 ・データ解析: 予測、グルーピング、パターン発見、最適化、データ可視化: 複合グラフ「データサイエンス」6回目 ・画像／動画処理、音声／音楽処理など「データサイエンス」7回目
	1-5	・金融、サービス、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用「データサイエンス」7回目
(4) 活用に当たった様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	・個人情報保護、プライバシー保護「情報処理演習」1回目 ・データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、データ・AI活用における負の事例紹介、生成AIの留意事項(偽情報や有害コンテンツの生成・氾濫など)「データサイエンス」2回目
	3-2	・情報セキュリティの3要素(機密性、完全性、可用性)、ユーザ認証、パスワード、悪意ある情報搾取、情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「情報処理演習」1回目 ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介、サイバーセキュリティ「データサイエンス」2回目
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	・データの種類(量的変数、質的変数)、母集団と標本抽出(アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出)「情報処理演習」2回目～15回目 ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)、データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)、相関と因果(相関関数、疑似相関、交絡)、クロス集計表、統計情報の正しい理解(誇張表現に惑わされない)「データサイエンス」3回目～6回目
	2-2	・データ表現(棒グラフ、折れ線グラフ、散布図)「情報処理演習」2回目～15回目 ・データ表現(箱ひげ図)、データの比較(条件を揃えた比較、処理の前後での比較)、相手に適格かつ正確に情報を伝える技術や考え方(スライド作成など)「データサイエンス」3回目～6回目
	2-3	・データの集計(和、平均)、データの並び替え、ランキング「情報処理演習」2回目～15回目 ・データの取得(機械判読可能なデータの作成・表記方法)「データサイエンス」3回目～6回目

⑦プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

- ①データ・AI活用領域の広がりを理解し、データ活用の意義や課題を説明できる。
- ②データを適切に読み解き、適切な可視化手法を選択し、他者にデータを説明できる。
- ③データを適切に利活用するためには、客観的な事実を確認したうえで利用することが重要であることを理解できる。

様式1

リテラシーレベルのプログラムを構成する授業科目について

- ### ⑤プログラム構成科目

[illegible]

- | ⑥ プログラムを構成する授業の内容 | |
|---|---|
| 授業に含まれている内容・要素 | 授業に含まれているスキルセットのキーワード |
| <p>① 基礎知識の習得</p> <p>② 基礎知識の応用</p> <p>③ 応用知識の習得</p> <p>④ 応用知識の応用</p> | <p>基礎知識の習得</p> <p>基礎知識の応用</p> <p>応用知識の習得</p> <p>応用知識の応用</p> |

(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	・ビッグデータ、AI、生成AI、データ量の増加、計算機の処理性能の向上、データ駆動型社会、人間の知的活動とAIの関係性、データを起点としたものの見方「データサイエンス」1回目
	1-6	・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、強化学習、転移学習、生成AIなど)「データサイエンス」6回目 ・AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど)「データサイエンス」7回目
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど、1次データ、2次データ、データのオープン化(オープンデータ)「データサイエンス」1回目
	1-3	・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)、マーケティング、サービス、活動代替、新規生成など、翻訳・要約・執筆支援「データサイエンス」7回目
(3) 様々なデータ利用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	・AIとビッグデータ「データサイエンス」1回目 ・データ解析: 予測、グルーピング、パターン発見、最適化、データ可視化: 複合グラフ「データサイエンス」6回目 ・画像／動画処理、音声／音楽処理など「データサイエンス」7回目
	1-5	・金融、サービス、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用「データサイエンス」7回目
(4) 活用に当たった様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	・個人情報保護、プライバシー保護「情報処理演習」1回目 ・データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、データ・AI活用における負の事例紹介、生成AIの留意事項(偽情報や有害コンテンツの生成・氾濫など)「データサイエンス」2回目
	3-2	・情報セキュリティの3要素(機密性、完全性、可用性)、ユーザ認証、パスワード、悪意ある情報搾取、情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「情報処理演習」1回目 ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介、サイバーセキュリティ「データサイエンス」2回目
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	・データの種類(量的変数、質的変数)、母集団と標本抽出(アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出)「情報処理演習」2回目～15回目 ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)、データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)、相関と因果(相関関数、疑似相関、交絡)、クロス集計表、統計情報の正しい理解(誇張表現に惑わされない)「データサイエンス」3回目～6回目
	2-2	・データ表現(棒グラフ、折れ線グラフ、散布図)「情報処理演習」2回目～15回目 ・データ表現(箱ひげ図)、データの比較(条件を揃えた比較、処理の前後での比較)、相手に適格かつ正確に情報を伝える技術や考え方(スライド作成など)「データサイエンス」3回目～6回目
	2-3	・データの集計(和、平均)、データの並び替え、ランキング「情報処理演習」2回目～15回目 ・データの取得(機械判読可能なデータの作成・表記方法)「データサイエンス」3回目～6回目

⑦プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

- ①データ・AI活用領域の広がりを理解し、データ活用の意義や課題を説明できる。
- ②データを適切に読み解き、適切な可視化手法を選択し、他者にデータを説明できる。
- ③データを適切に利活用するためには、客観的な事実を確認したうえで利用することが重要であることを理解できる。

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度【リテラシーレベル】令和8年度申請用

様式1

大学等名	金城大学
プログラム名	数理・データサイエンス・AIリテラシープログラム

リテラシーレベルのプログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件	学部・学科によって、修了要件は相違する
② 対象となる学部・学科名称	総合経済学部
③ プログラム履修必須の有無	令和10年度以降に履修必須とする計画、又は未定
④ 修了要件	必修科目3単位

⑤ プログラム構成科目

必要最低科目数・単位数	2	科目
	3	単位

		モデルカリキュラム対応状況																					
授業科目		単位数	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8	4-9	その他
(1) 必須科目 (プログラムを修了するために必ず履修しなければならない科目)	コンピュータ・リテラシー	1	○	○	○	○		○		○	○	○	○										
	データサイエンス I (データサイエンスの基礎)	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										
※卒業要件上の必修科目とは必ずしもイコールではない																							
(2) 選択必須科目 (プログラムを修了するために一定の条件のもと履修しなければならない科目)																							
(3) 選択科目 (プログラムを構成する科目のうち「必須科目」「選択必須科目」のいずれにも該当しない科目)																							

⑥ プログラムを構成する授業の内容	
授業に含まれている内容・要素	授業に含まれているスキルセットのキーワード

(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	・ビッグデータ、AI、生成AI「コンピュータ・リテラシー」14回目 ・ビッグデータ、データ量の増加、計算機の処理性能の向上、データ駆動型社会、人間の知的活動とAIの関係性、データを起点としたものの見方「データサイエンス I (データサイエンスの基礎)」1,2回目
	1-6	・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、強化学習、転移学習、生成AIなど)「コンピュータ・リテラシー」14回目 ・AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど)「データサイエンス I (データサイエンスの基礎)」3,4回目
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど「コンピュータ・リテラシー」14回目 ・1次データ、2次データ、データのオープン化(オープンデータ)「データサイエンス I (データサイエンスの基礎)」3,4回目
	1-3	・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)「コンピュータ・リテラシー」14回目 ・マーケティング、サービス、活動代替、新規生成など、翻訳・要約・執筆支援「データサイエンス I (データサイエンスの基礎)」5回目
(3) 様々なデータ利用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	・AIとビッグデータ「コンピュータ・リテラシー」14回目 ・データ解析: 予測、グルーピング、パターン発見、最適化、データ可視化: 複合グラフ「データサイエンス I (データサイエンスの基礎)」6,7回目 ・画像/動画処理、音声/音楽処理など「データサイエンス I (データサイエンスの基礎)」8,9回目
	1-5	・金融、サービス、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用「データサイエンス I (データサイエンスの基礎)」5,10回目
(4) 活用に当たった様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	・個人情報保護、プライバシー保護「コンピュータ・リテラシー」6,7回目 ・個人情報保護、データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、データ・AI活用における負の事例紹介、生成AIの留意事項(偽情報や有害コンテンツの生成・氾濫など)「データサイエンス I (データサイエンスの基礎)」13回目
	3-2	・ユーザ認証、パスワード、悪意ある情報搾取、情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「コンピュータ・リテラシー」5回目 ・情報セキュリティの3要素(機密性、完全性、可用性)、情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介、サイバーセキュリティ「データサイエンス I (データサイエンスの基礎)」14回目
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)、データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)、相関と因果(相関関数、疑似相関、交絡)、クロス集計表、統計情報の正しい理解(誇張表現に惑わされない)「データサイエンス I (データサイエンスの基礎)」6,7,11,12回目
	2-2	・データ表現(棒グラフ、折れ線グラフ)「コンピュータ・リテラシー」8,9回目 ・データ表現(散布図、箱ひげ図)、データの比較(条件を揃えた比較、処理の前後での比較)、相手に適格かつ正確に情報を伝える技術や考え方(スライド作成など)「データサイエンス I (データサイエンスの基礎)」6,7,11,12回目
	2-3	・データの集計(和、平均)、データの並び替え、ランキング「コンピュータ・リテラシー」8,9回目 ・データの取得(機械判読可能なデータの作成・表記方法)「データサイエンス I (データサイエンスの基礎)」11,12回目

⑦プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

- ①データ・AI活用領域の広がりを理解し、データ活用の意義や課題を説明できる。
- ②データを適切に読み解き、適切な可視化手法を選択し、他者にデータを説明できる。
- ③データを適切に利活用するためには、客観的な事実を確認したうえで利用することが重要であることを理解できる。

リテラシーレベルのプログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度

令和7年度(和暦)

②履修者・修了者の実績(「学生数」「入学定員」「収容定員」は令和7年5月1日時点で記載)

[illegible]

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数

(常勤)	92	人
(非常勤)	77	人

② プログラムの授業を教えている教員数(令和7年度)

3	人
---	---

③ プログラムの運営責任者

(責任者名)	内 慶瑞
(役職名)	教学委員長

④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

(名称)	教学委員会
------	-------

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

(名称)	金城大学教学委員会規程
------	-------------

⑥ 体制の目的

本教育プログラムは、明日の福祉社会を先導する福祉のリーダー的存在を目指す本学の学生が、データを適切に読み解き、データやAIを適切に利活用できる能力の修得を目的としている。本学卒業生が活躍する社会福祉、医療・健康、看護をはじめ地域社会の様々な現場では、AIの導入やデータの利活用が急速に進んでいる。このような状況から、本教育プログラムは実施後の検証を踏まえて、質の維持・向上を継続していく必要がある。

教学委員会は全学的な組織であり、教育課程の編成を含め、学生の修学に関する全般的事項について検討・運用を行っている。本教育プログラムについても、教学委員会を運営主体とすることで、組織的かつ継続的にプログラムの更なる発展と教育内容の充実を図っていく。

⑦ 具体的な構成員

教学委員長	教授	内 慶瑞
教学副委員長	教授	神谷 晃央
教学委員会	教授	藪下 保弘
教学委員会	教授	竹野 欽昭
教学委員会	教授	柴田 紀子
教学委員会	教授	斎藤 修啓
教学委員会	教授	金谷 雅代
教学委員会	准教授	山本 拓哉
教学委員会	准教授	松井 弘美
教学委員会	准教授	久富 郁代子
教学委員会	准教授	野村 智宏
教学委員会	准教授	曾根 志穂
教学委員会	准教授	境 美砂子
教学委員会	講師	渡邊 亮士
教学委員会	講師	吉武 将司
教学委員会	講師	松田 美紀
教学委員会	講師	伊藤 友香
教学委員会	助教	東 利紀

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画

令和7年度履修率	13%
令和8年度予定	35%
令和9年度予定	60%
令和10年度予定	100%
令和11年度予定	100%

具体的な計画

令和7年度の本教育プログラム開始にあたり、新入生オリエンテーションで案内チラシを配付して説明を行った。総合経済学部は本教育プログラム修了要件の2科目がいずれも卒業必修科目であるため、今後の学年進行とともに履修者数は向上していく。一方、人間社会科学部、医療健康学部、看護学部は本教育プログラム修了要件の2科目のうち「データサイエンス」が卒業選択科目であるため、低い履修率となった。この状況を改善すべく、令和8年度は前期、後期の学期始めのオリエンテーション時に、対象学年となる学生へ本教育プログラムの有用性を改めて説明して履修を促し、履修者数及び履修率の向上を図る。また、学内ポータルサイトやSNS等による学生への発信も行う。令和8年度、令和9年度の履修率が目標数値に届かない場合は、令和10年度以降は「『データサイエンス』を卒業必修科目へ変更する」または「『データサイエンス』を他の卒業必修科目履修に際しての事前履修が必要な科目として設定する」ことで遅くとも令和10年度には履修率100%を達成する計画である。

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

総合経済学部は本教育プログラム修了要件の2科目がいずれも卒業必修科目であるため学生全員が受講する。人間社会科学部、医療健康学部、看護学部は修了要件2科目のうち、1科目が卒業選択科目「データサイエンス」であるため、当該科目を必修科目と必修科目の間の時間帯に設定するなど、学生が履修しやすいよう工夫する。また、今後の履修者数の推移を勘案し、当該科目を必修科目またはそれに準じた科目へ変更することも検討していく。

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

令和7年度の本教育プログラム開始にあたり、新入生オリエンテーションで案内チラシを配付して説明を行った。令和8年度は前期、後期の学期始めのオリエンテーション時に、対象学年となる学生へ本教育プログラムの有用性を改めて説明し周知を図る。また、学内ポータルサイトやSNS等による学生への発信を行う。あわせて、学生向けの本教育プログラム説明会を開催し、データサイエンス・AI教育の必要性について理解を促す。

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

学生の修学指導を担当する教員を含め、全教員を対象として本教育プログラムに関するFDSD研修を開催し、データサイエンス・AI教育の必要性について教職員の理解を深める。そのうえで、教学委員会教員や修学指導担当教員を中心として、学生からの個別相談や苦手分野の克服に関してアドバイスや集合型のリメディアル教育を行い、学生の履修サポートを行う。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

リアクションペーパー等により、学生の理解度について状況を把握するとともに、理解が不十分と考えられる内容については、授業内で補充説明を行っている。また、個別の質問に対応できるよう、全履修学生をGoogle classroomへ登録し、授業担当教員と直接連絡が取れる体制としている。加えて、教員のオフィスアワーを固定曜日の時間帯で設定し、学生が自由に対面またはオンラインで相談できる機会を設けている。

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制

自己点検・評価委員会

(責任者名) 佐々木 賢太郎

(役職名) 自己点検・評価委員長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点		自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点		
	プログラムの履修・修得状況	本教育プログラムは、令和7年度以降入学生を対象とするものであり、総合経済学部では全て卒業必修科目を修了要件に設定しているため、全学生の111人が履修し、102人が修得した。一方、選択科目の「データサイエンス」を含む医療健康学部、看護学部は、履修者数が医療健康学部では74人中14人、看護学部では89人中9人の履修者に留まった。人間社会学部では令和7年度の開講科目は全学生が履修したが、2年次開講予定の選択科目の「データサイエンス」を修了要件に含んでいる。本教育プログラムが開設初年度であり、学生の認知度が低かったことが影響したものと考えられるため、今後は学生への丁寧な説明と周知が必要である。
	学修成果	本教育プログラムでは、データやAIを適切に理解し活用するための基礎的素養を身に付けることを目的としている。各科目において、課題レポートやディスカッションを実施し、担当教員から学生へフィードバックを行うことで、学生の理解が深まるように努め、学修成果の確認を行っている。今後は、本教育プログラム修了者、履修者を対象としてアンケートを実施し、教育目標を達成していることを確認する。
	学生アンケート等を通じた学生の 内容の理解度	全科目を対象に授業アンケートを実施している。本教育プログラム科目においても、複数の項目について調査を行い、その回答結果を分析することで、学生の理解度を把握している。令和7年度の授業アンケートの結果によれば、当該科目は4学部いずれにおいても、全授業科目の平均値を上回る結果となった。これにより、学生の授業内容の理解については、一定の評価を得ていると判断できる。
	学生アンケート等を通じた後輩等 他の学生への推奨度	本プログラムは実施初年度であり、修了者に対するアンケートは未実施であるが、授業内で得られたフィードバックコメントでは、学修内容の有用性が段階的に学べるプログラムへの肯定的な意見が多く、今後のアンケートにおいても一定の推奨以降が示されることが期待できる。当該アンケートの結果を踏まえて、教育内容の改善を検討する必要がある。
	全学的な履修者数、履修率向上 に向けた計画の達成・進捗状況	令和7年度の本教育プログラム開始にあたり、新入生オリエンテーションで案内チラシを配付して説明を行ったが、履修者数実績から学生に当プログラムの魅力が十分に伝わっていなかったと判断する。当プログラムへの学生の認知度も低いと見られることから、周知方法や説明内容の改善が必要である。学内ポータルサイトやSNS等による学生への発信など、周知に係る様々な取組が急務であると言える。

自己点検・評価の視点		自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点		
	教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	本教育プログラムは、令和7年度以降入学生を対象とするものであり、修了者の卒業は令和10年度以降となる。本学では卒業生を対象とした「卒業生アンケート」を実施しており、修了者の進路や活躍状況は当該アンケートの活用により把握する予定である。また、卒業生の就職先を含む企業を対象としたアンケートも実施しているため、企業等からの評価は当該アンケートの活用により把握する予定である。
	産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	本教育プログラムは、令和7年度から開始したものであり、現時点では産業界からの評価実績はないが、企業の経営者からは「これからの時代にはどの業界においても、データサイエンス、AIの技術は業務に取り入れる必要である。」との意見が多数寄せられている。今後は当教育プログラムに関する産業界からの評価アンケートを実施し、意見をもとに改善を図る必要がある。また、地元企業や福祉施設等との連携によるPBL(課題解決型学修)を積極的に導入し、教育の質の向上に努めていく。
	数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	本教育プログラムは加速するデジタル社会、いわゆるSociety5.0時代において必要とされる数理・データサイエンス・AIに関する知識や技術の修得を図ることを重視し、プログラムの展開を進めている。授業は、科学分野が得意な学生のみならず、科学に苦手意識を持つ学生にも配慮した構成とし、誰もが理解を深めることができるよう教材の作成等を行っている。また、授業担当教員は各学部学生の卒業後の進路(職域)に即した具体的事例を題材とし、実践的かつ身近な内容で授業を展開し、当プログラムの楽しさや意義を理解してもらえるように努めている。
	内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること ※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載	本プログラムでは、数理・データサイエンス・AIに関する広範な内容を扱っており、学生がこれらの分野に対して幅広い知識を修得することを目的としている。全体を通じて基礎的かつ多面的な理解を深めることを重視している一方で、企業や教育機関などの実社会における現場レベルでの活用に向けては、今後さらなる知識と実践的経験の積み重ねが必要であると認識している。自ら調べ、考え、解決策を導き出す力の育成が重要であり、学生一人ひとりが社会に出た際に直面しうる現実的な課題に対し、その本質を見極め、論理的に解決へ導くための思考力と判断力を養う教育を展開している。

年度	2025
講義名称	情報処理演習 I s
開講責任部署	大学
講義区分	演習
基準単位数	1.0
科目群（区分）	基礎
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	1 年前期
必修・選択	必修
卒業認定・学位授与の方針との関連	作業療法学科（1）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学研究部社会福祉学科	11201061

担当教員

氏名	所属
◎ 川邊 弘之	大学・人間社会科学研究部・社会福祉学科

授業概要	「情報の処理及び表現の能力」「問題解決能力」の習得を目的に、いくつかの問題解決技法と問題解決のための表計算ソフトウェア利用技術の習得を目標に、以下の内容で授業を展開する。 1. 表計算ソフトウェアの基礎 2. データベースの操作 3. アンケートの集計 4. グラフによるデータの可視化 5. 回帰分析によるデータの推定 6. 投票による社会的選択 7. 階層分析法による意思決定 8. モンテカルロシミュレーション
到達目標	1 回から 2 回で完了するようなテーマを設定した演習により、情報の処理及び表現の能力が身につく。また、問題解決のための手法を理解し、表計算ソフトウェアを道具として使えるようになる。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】 授業概要解説、学内ネットワークの利用、情報セキュリティ、教材配布ーデータ・AIを扱う上での留意事項、データを守る上での留意事項ー	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	PCの操作法を思い出しておくこと。USBメモリを用意しておくこと。	15
第2回	【授業計画】 作表と印刷ーデータを読む、データを説明する、データを扱うー	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。教科書の該当部分を熟読し、操作法の予習をしておくこと。	30
第3回	【授業計画】 表の外見とデータの書式ーデータを読む、データを説明する、データを扱うー	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。教科書の該当部分を熟読し、表の外見や書式の種類について理解しておくこと。	30

第4回	【授業計画】	
	計算　－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。教科書の該当部分を熟読し、計算機能の特徴について把握しておくこと。	30
第5回	【授業計画】	
	データベース　－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。教科書の該当部分を熟読し、データベースについて調べておくこと。	30
第6回	【授業計画】	
	アンケート集計（１）コード化と集計表　－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。教科書の該当部分を熟読し、アンケート調査法について調べておくこと。	30
第7回	【授業計画】	
	アンケート集計（２）関数によるデータ件数の集計　－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。また、関数機能について再確認しておくこと。	30
第8回	【授業計画】	
	アンケート集計（３）フィルタ機能によるデータ件数の集計　－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。また、データベース機能について再確認しておくこと。	30
第9回	【授業計画】	
	集計表（条件付き合計）　－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。また、関数機能について再確認しておくこと。	30
第10回	【授業計画】	
	グラフ表現によるデータの可視化　－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。グラフの種類と使い分けについて調べておくこと。	30
第11回	【授業計画】	
	回帰分析によるデータの推定　－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。教科書の該当部分を熟読し、回帰分析について調べておくこと。	30
第12回	【授業計画】	
	移動平均による平滑化　－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。教科書の該当部分を熟読し、移動平均について調べておくこと。	30

第13回	【授業計画】	
	判別分析による意思決定 – データを読む、データを説明する、データを扱う –	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。教科書の該当部分を熟読し、判別分析について調べておくこと。	30
第14回	【授業計画】	
	モンテカルロシミュレーション – データを読む、データを説明する、データを扱う –	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。教科書の該当部分を熟読し、モンテカルロシミュレーションについて調べておくこと。	30
第15回	【授業計画】	
	微分方程式の数値計算 – データを読む、データを説明する、データを扱う –	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。教科書の該当部分を熟読し、コンピュータでの数値計算について調べておくこと。	30

履修に必要な予備知識や技能	PCの操作法を思い出しておくこと。
課題に対してのフィードバック	演習課題の成果物は点検・添削された後、次回以降の授業で返却されます。
評価方法・基準	課題演習レポートで評価する。
教科書	自作の電子テキストを使用する。
備考	課題演習では、学生間でのディスカッション・相談を歓迎する。課題が完成した学生が他の学生のサポートを行うことも構わない。
実務経験の内容・期間	なし

年度	2025
講義名称	データサイエンスh
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	1.0
科目群（区分）	主題
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	社子→2年後期／理作看→1年後期
必修・選択	選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	社会福祉学科（1）、子ども教育保育学科（1）、理学療法学科（1）、作業療法学科（1）、看護学科（1）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学研究部社会福祉学科	12200060
金城大学人間社会科学研究部子ども教育保育学科	22200060
金城大学看護学部看護学科	72210119
金城大学医療健康学部理学療法学科	42210148
金城大学医療健康学部作業療法学科	52210148

担当教員

氏名	所属
◎ 川邊 弘之	大学・人間社会科学研究部・社会福祉学科

授業概要	AI(Artificial Intelligence)、IoT(Internet of Things)等の情報通信技術（ICT）の導入が急速に進展し、情報リテラシーの教育は新たな倫理観も含め必要である。本講義では、データサイエンスの基本的概念およびデータの収集・管理（倫理観を含む）・分析の基礎知識、数理的思考を身につける。統計学的な考えを活用し、データ分析・活用の手法を理解するとともに、データサイエンスの具体事例（医療保健データなど）を通じて、社会におけるデータの分析・活用についても理解する。本講義では、ICTを活用した分析等に関連するレポートの作成を通して学びを深める。主として、データを適切に収集および管理できること、データ収集と管理に関する知識を活用し、データ分析に役立てること、さらに、データに基づく客観的な判断・意思決定をするために必要な基礎的概念を理解することができる。
到達目標	データを適切に収集および管理できる。 データ収集と管理に関する知識を活用し、データ分析に役立てることができる。 データに基づく客観的な判断・意思決定をするために必要な基礎的概念が理解できる。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】 イントロダクション、授業の説明、現代社会におけるデータサイエンス（１）：データサイエンスの役割－社会で起きている変化、社会で活用されているデータ－ 【事前事後学修の内容】 「情報処理演習I」の内容を再確認する	【事前事後学修時間（分）】 30
第2回	【授業計画】 現代社会におけるデータサイエンス（２）：データ分析のためのデータの取得と管理－データ・AIを扱う上での留意事項、データを守る上での留意事項－ 【事前事後学修の内容】 データの取得・管理と個人情報の保護に関して、どのような社会問題が生じているか調べる	【事前事後学修時間（分）】 30
第3回	【授業計画】 データ分析の基礎（１）：ヒストグラム／箱ひげ図／平均と分散－データを読む、データを説明する、データを扱う－ 【事前事後学修の内容】 高等学校「数学」での統計的な内容を再確認する	【事前事後学修時間（分）】 30

第4回	【授業計画】	
	データ分析の基礎（２）：散布図と相関係数／回帰直線／データ分析で注意すべき点－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	サンプルデータでデータ分析してみる	90
第5回	【授業計画】	
	データサイエンスの手法（１）：クロス集計／回帰分析／ベイズ推論／アソシエーション分析－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	「データサイエンスの手法」に関する教科書の該当部分を精読し、理解できない部分を抜き出しておく	90
第6回	【授業計画】	
	データサイエンスの手法（２）：クラスタリング／決定木／ニューラルネットワーク／機械学習と人工知能（AI）－データを読む、データを説明する、データを扱う、データ・AIの活用領域、データ・AI活用のための技術－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	手法の得手・不得手をまとめる	60
第7回	【授業計画】	
	データサイエンスの応用事例：マーケティング／金融／品質管理／画像処理／音声処理／医学－データ・AI活用の現場、データ・AI活用の最新動向－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	あなたの専門分野でのデータサイエンスの応用事例を調べる	30
第8回	【授業計画】	
	まとめ	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	今後、データサイエンスは社会でどのように使われるようになるか、考察する	30

履修に必要な予備知識や技能	「情報処理演習」の履修・単位修得が望ましい。
課題に対してのフィードバック	課題レポートは評価後、返却します。
評価方法・基準	定期試験40％、課題レポート60％
教科書	教科書：データサイエンス入門第3版（データサイエンス大系）、竹村彰通他著、学術図書出版社
実務経験の内容・期間	なし

年度	2025
講義名称	情報処理演習ra
開講責任部署	大学
講義区分	演習
基準単位数	1.0
科目群（区分）	基礎
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	1 年前期
必修・選択	必修
卒業認定・学位授与の方針との関連	作業療法学科（1）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学医療健康学部理学療法学科	41110103

担当教員

氏名	所属
◎ 川邊 弘之	大学・人間社会科学部・社会福祉学科

授業概要	「情報の処理及び表現の能力」「問題解決能力」の習得を目的に、いくつかの問題解決技法と問題解決のための表計算ソフトウェア利用技術の習得を目標に、以下の内容で授業を展開する。 1. 表計算ソフトウェアの基礎 2. データベースの操作 3. アンケートの集計 4. グラフによるデータの可視化 5. 回帰分析によるデータの推定 6. 投票による社会的選択 7. 階層分析法による意思決定 8. モンテカルロシミュレーション
到達目標	1回から2回で完了するようなテーマを設定した演習により、情報の処理及び表現の能力が身につく。また、問題解決のための手法を理解し、表計算ソフトウェアを道具として使えるようになる。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】 授業概要解説、学内ネットワークの利用、情報セキュリティ、教材配布ーデータ・AIを扱う上での留意事項、データを守る上での留意事項ー	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	PCの操作法を思い出しておくこと。USBメモリを用意しておくこと。	15
第2回	【授業計画】 作表と印刷ーデータを読む、データを説明する、データを扱うー	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。教科書の該当部分を熟読し、操作法の予習をしておくこと。	30
第3回	【授業計画】 表の外見とデータの書式ーデータを読む、データを説明する、データを扱うー	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。教科書の該当部分を熟読し、表の外見や書式の種類について理解しておくこと。	30

第4回	【授業計画】	
	計算　－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。教科書の該当部分を熟読し、計算機能の特徴について把握しておくこと。	30
第5回	【授業計画】	
	データベース　－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。教科書の該当部分を熟読し、データベースについて調べておくこと。	30
第6回	【授業計画】	
	アンケート集計（１）コード化と集計表　－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。教科書の該当部分を熟読し、アンケート調査法について調べておくこと。	30
第7回	【授業計画】	
	アンケート集計（２）関数によるデータ件数の集計　－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。また、関数機能について再確認しておくこと。	30
第8回	【授業計画】	
	アンケート集計（３）フィルタ機能によるデータ件数の集計　－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。また、データベース機能について再確認しておくこと。	30
第9回	【授業計画】	
	集計表（条件付き合計）　－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。また、関数機能について再確認しておくこと。	30
第10回	【授業計画】	
	グラフ表現によるデータの可視化　－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。グラフの種類と使い分けについて調べておくこと。	30
第11回	【授業計画】	
	回帰分析によるデータの推定　－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。教科書の該当部分を熟読し、回帰分析について調べておくこと。	30
第12回	【授業計画】	
	移動平均による平滑化　－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。教科書の該当部分を熟読し、移動平均について調べておくこと。	30

第13回	【授業計画】	
	判別分析による意思決定 – データを読む、データを説明する、データを扱う –	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。教科書の該当部分を熟読し、判別分析について調べておくこと。	30
第14回	【授業計画】	
	モンテカルロシミュレーション – データを読む、データを説明する、データを扱う –	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。教科書の該当部分を熟読し、モンテカルロシミュレーションについて調べておくこと。	30
第15回	【授業計画】	
	微分方程式の数値計算 – データを読む、データを説明する、データを扱う –	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	前回授業の内容を復習しておくこと。教科書の該当部分を熟読し、コンピュータでの数値計算について調べておくこと。	30

履修に必要な予備知識や技能	PCの操作法を思い出しておくこと。
課題に対してのフィードバック	演習課題の成果物は点検・添削された後、次回以降の授業で返却されます。
評価方法・基準	課題演習レポートで評価する。
教科書	自作の電子テキストを使用する。
備考	課題演習では、学生間でのディスカッション・相談を歓迎する。課題が完成した学生が他の学生のサポートを行うことも構わない。
実務経験の内容・期間	なし

年度	2025
講義名称	データサイエンスⅡ
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	1.0
科目群（区分）	主題
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	社子→2年後期／理作看→1年後期
必修・選択	選択

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部社会福祉学科	12200060
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	22200060
金城大学看護学部看護学科	72210119
金城大学医療健康学部理学療法学科	42210148
金城大学医療健康学部作業療法学科	52210148

担当教員

氏名	所属
◎ 川邊 弘之	大学・人間社会科学部・社会福祉学科

授業概要	AI(Artificial Intelligence)、IoT(Internet of Things)等の情報通信技術（ICT）の導入が急速に進展し、情報リテラシーの教育は新たな倫理観も含め必要である。本講義では、データサイエンスの基本的概念およびデータの収集・管理（倫理観を含む）・分析の基礎知識、数理的思考を身につける。統計学的な考えを活用し、データ分析・活用の手法を理解するとともに、データサイエンスの具体事例（医療保健データなど）を通じて、社会におけるデータの分析・活用についても理解する。本講義では、ICTを活用した分析等に関連するレポートの作成を通して学びを深める。主として、データを適切に収集および管理できること、データ収集と管理に関する知識を活用し、データ分析に役立てること、さらに、データに基づく客観的な判断・意思決定をするために必要な基礎的概念を理解することができる。
到達目標	データを適切に収集および管理できる。 データ収集と管理に関する知識を活用し、データ分析に役立てることができる。 データに基づく客観的な判断・意思決定をするために必要な基礎的概念が理解できる。

授業計画表

授業計画表			
第1回	【授業計画】		
	イントロダクション、授業の説明、現代社会におけるデータサイエンス（１）：データサイエンスの役割－社会で起きている変化、社会で活用されているデータ－		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	「情報処理演習Ⅰ」の内容を再確認する	30	
第2回	【授業計画】		
	現代社会におけるデータサイエンス（２）：データ分析のためのデータの取得と管理－データ・AIを扱う上での留意事項、データを守る上での留意事項－		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	データの取得・管理と個人情報の保護に関して、どのような社会問題が生じているか調べる	30	
第3回	【授業計画】		
	データ分析の基礎（１）：ヒストグラム／箱ひげ図／平均と分散－データを読む、データを説明する、データを扱う－		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	高等学校「数学」での統計的な内容を再確認する	30	

第4回	【授業計画】	
	データ分析の基礎（２）：散布図と相関係数／回帰直線／データ分析で注意すべき点－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	サンプルデータでデータ分析してみる	90
第5回	【授業計画】	
	データサイエンスの手法（１）：クロス集計／回帰分析／ベイズ推論／アソシエーション分析－データを読む、データを説明する、データを扱う－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	「データサイエンスの手法」に関する教科書の該当部分を精読し、理解できない部分を抜き出しておく	90
第6回	【授業計画】	
	データサイエンスの手法（２）：クラスタリング／決定木／ニューラルネットワーク／機械学習と人工知能（AI）－データを読む、データを説明する、データを扱う、データ・AIの活用領域、データ・AI活用のための技術－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	手法の得手・不得手をまとめる	60
第7回	【授業計画】	
	データサイエンスの応用事例：マーケティング／金融／品質管理／画像処理／音声処理／医学－データ・AI活用の現場、データ・AI活用の最新動向－	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	あなたの専門分野でのデータサイエンスの応用事例を調べる	30
第8回	【授業計画】	
	まとめ	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	今後、データサイエンスは社会でどのように使われるようになるか、考察する	30

履修に必要な予備知識や技能	「情報処理演習」の履修・単位修得が望ましい。
課題に対してのフィードバック	課題レポートは評価後、返却します。
評価方法・基準	定期試験40％、課題レポート60％
教科書	教科書：データサイエンス入門第3版（データサイエンス大系）、竹村彰通他著、学術図書出版社
実務経験の内容・期間	なし

年度	2025
講義名称	コンピュータ・リテラシーa
開講責任部署	大学
講義区分	演習
基準単位数	1.0
科目群（区分）	基礎
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施無し
開講時期	1年前期
必修・選択	必修
卒業認定・学位授与の方針との関連	総合経済学科（1）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学総合経済学部総合経済学科	91160001

担当教員

氏名	所属
◎ 廣瀬 元	短期大学部・ビジネス実務学科

授業概要	コンピュータは今や日常生活にまで入り込み、現代社会において、コンピュータやインターネットを含むＩＴ（Information Technology：情報技術）があらゆるビジネス分野の基本技術として普及し、日々重要性が高まっている。本講義では、コンピュータを用いて目的とする作業を行うための知識と能力（コンピュータ・リテラシー）について学修する。この中で、コンピュータの仕組み、操作の基本、またネットワークやセキュリティについて理解を深める。さらに、文章処理、表計算、プレゼンテーションの3つのビジネス必須ツールについて、現在様々な職場で利用されている複数のアプリケーションを用いて学び、各アプリケーションをシームレスに活用できることを目標とする。
到達目標	コンピュータやインターネットの基本的な仕組みを理解し、適切に利用できるようになること。情報倫理や情報セキュリティを理解し、適切な配慮を行なえるようになること。基本ビジネスソフトである文章処理、表計算、プレゼンテーションのアプリケーションをシームレスに扱えるようになること。

授業計画表

授業計画表			
第1回	【授業計画】		
	ガイダンスとコンピュータの利用		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	事後：コンピュータの基本操作について復習しておく	60	
第2回	【授業計画】		
	コンピュータの仕組み（ハードウェアとソフトウェア、OS）		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	コンピュータの仕組みについて復習しておく	60	
第3回	【授業計画】		
	ファイルシステムとファイル操作		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	ファイルシステム及び操作について復習しておく	60	
第4回	【授業計画】		
	インターネットの仕組み		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	インターネットの仕組みについて復習しておく	60	
第5回	【授業計画】		
	ネットワークとセキュリティ		
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】	
	ネットワークとセキュリティについて復習しておく	60	

第6回	【授業計画】	
	情報の検索と収集	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	情報の検索と収集について復習しておく	60
第7回	【授業計画】	
	情報の発信	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	情報の発信について復習しておく	60
第8回	【授業計画】	
	クラウドサービスの利用①（MS365 Word）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	MS365 Word、MS Wordの違いや互換性について復習しておく	60
第9回	【授業計画】	
	クラウドサービスの利用②（MS365 Excel）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	MS365 Excel、MS Excelの違いや互換性について復習しておく	60
第10回	【授業計画】	
	クラウドサービスの利用③（MS365 PowerPoint）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	MS365 PoerPointl、MS PowerPointの違いや互換性について復習しておく	60
第11回	【授業計画】	
	クラウドサービスの利用④（Google ドキュメント）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	Google ドキュメントとWordの違いや互換性について復習しておく	60
第12回	【授業計画】	
	クラウドサービスの利用⑤（Google スプレッドシート）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	Google スプレッドシートとExcelの違いや互換性について復習しておく	60
第13回	【授業計画】	
	クラウドサービスの利用⑥（Google スライド）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	Google スライドとPowerPointの違いや互換性について復習しておく	60
第14回	【授業計画】	
	AI・データサイエンス	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	AIやデータサイエンスについて復習しておく	60
第15回	【授業計画】	
	総復習とまとめ	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	この授業の内容についてまとめる	60

履修に必要な予備知識や技能	なし
課題に対してのフィードバック	演習課題は、メール等でフィードバックする
評価方法・基準	授業内課題演習で評価100%（授業貢献内容で最大40%まで減点）
教科書	使用教科書なし。授業内で必要に応じてプリントを配布
備考	なし
実務経験の内容・期間	なし

年度	2025
講義名称	データサイエンスⅠ（データサイエンスの基礎）
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	専門基本
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	1年後期
必修・選択	必修
卒業認定・学位授与の方針との関連	総合経済学科（2）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学総合経済学部総合経済学科	93160002

担当教員

氏名	所属
◎ 齊藤 実祥	大学・総合経済学部・総合経済学科

授業概要	ICT機器の発展と、ICT機器やサービスの利用の拡大により大量のデータが蓄積されるようになったことで、それらのデータを活用した新しい取り組みが可能になっている。そのため、実社会における様々な問題の解決や、新しい課題の発見のために、身の回りにあるデータを活用できる能力が求められている。また、データによる裏付けに基づいて、新しい価値を創造できる人材の養成が必要となっている。この講義では、様々なデータを分析するためのデータサイエンスの基礎を学修する。
到達目標	なぜデータサイエンスを学ぶのか、社会でどのように活用されているのかを理解すること。実際にデータを処理し、可視化して分析するための基礎的事項を修得すること。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】	
	ガイダンスと導入	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	ガイダンスと導入の振り返り	240
第2回	【授業計画】	
	ビッグデータ	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	ビッグデータの復習	240
第3回	【授業計画】	
	データに基づく意思決定	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	データに基づく意思決定の復習	240
第4回	【授業計画】	
	AIの利活用	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	AIの利活用の復習	240
第5回	【授業計画】	
	身の回りのデータ活用事例	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	身の回りのデータ活用事例の復習	240

第6回	【授業計画】	
	統計学的手法	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	統計学的手法の復習	240
第7回	【授業計画】	
	データの可視化	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	データの可視化の復習	240
第8回	【授業計画】	
	画像データの利用	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	画像データの利用の復習	240
第9回	【授業計画】	
	音声・音楽データの利用	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	音声・音楽データの利用の復習	240
第10回	【授業計画】	
	生体データの利用	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	生体データの利用の復習	240
第11回	【授業計画】	
	データ活用のための数理モデル	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	データ活用のための数理モデルの復習	240
第12回	【授業計画】	
	データ活用演習	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	データ活用演習の復習	240
第13回	【授業計画】	
	個人情報の保護	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	個人情報の保護の復習	240
第14回	【授業計画】	
	情報セキュリティ	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	情報セキュリティの復習	240
第15回	【授業計画】	
	総復習とまとめ、グループディスカッション	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	フィードバックに基づいた振り返り	240

履修に必要な予備知識 や技能	基礎数学レベルの数学と、統計学との復習
課題に対してのフィードバック	進行状況に応じて、講義内で適宜解説
評価方法・基準	基準：授業内課題（100％）但し、講義への貢献状況により最大40％まで減点
教科書	使用教科書なし。必要に応じてプリントを配付する

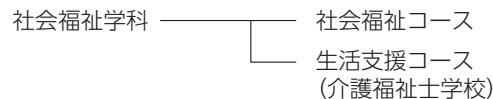
備考	企業等の実際のデータを用いて、当該企業等の課題解決に資するデータ分析を行う。また、仮説を立てて分析資料を作成するとともにプレゼンテーションを実施し、他者に伝達する方法を学ぶ。
実務経験の内容・期間	なし



教育課程

1. 社会福祉学科教育課程表

人間社会科学部社会福祉学科は社会福祉コース、生活支援コースに分けられ、学科及びコースの特性に応じた教育課程を定めています。



社会福祉学科のコース決定は、2年前期初めに決定します。生活支援コースは、厚生労働省より定員30人の介護福祉士学校として指定されています。そのため、指定科目を履修して卒業すれば、介護福祉士国家試験受験資格が得られます。

なお、配当年次については、変更する可能性があります。

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考		ナンバリング
			必修	選択				
基礎科目	スポーツ	1前	1		1			11101001
	スポーツ理論	1後	2		1			11101002
	レクリエーション活動Ⅰ	1前		1	1			11200011
	レクリエーション活動Ⅱ	1後		1	1			11200012
	英語Ⅰ	1前	1		1			11101021
	英語Ⅱ	1後	1		1			11101022
	英語Ⅲ	2前	1		1			11100023
	英語Ⅳ	2後		1	1			11200024
	言葉と文化(英語)Ⅰ	2前		1	1	外国語系	英語または中国語を選択し 2単位以上	11200025
	言葉と文化(英語)Ⅱ	2後		1	1			11200026
	言葉と文化(中国語)Ⅰ	1前		1	1			11200031
	言葉と文化(中国語)Ⅱ	1後		1	1			11200032
	言葉と文化(英語)Ⅲ	3前		1	1			11200027
	言葉と文化(英語)Ⅳ	3後		1	1			11200028
	言葉と文化(中国語)Ⅲ	2前		1	1			11200033
	言葉と文化(中国語)Ⅳ	2後		1	1			11200034
	学習方法演習Ⅰ	1前	1		1			11100091
	学習方法演習Ⅱ	1後	1		1			11100092
	基礎演習Ⅰ	2前	1		1			11100093
	基礎演習Ⅱ	2後	1		1			11100094
	情報処理演習Ⅰ	1後		1	1	情報系	1単位以上	11201061
	情報処理演習Ⅱ	2前		1	1			11201062
主観科目	ボランティア入門	1前	2		1			12100001
	ボランティア活動Ⅰ	1通		1	集中			12200002
	ボランティア活動Ⅱ	2通		1	集中			12200003
	健康科学	1前		2	1			12200011
	生命科学	3後		2	1			12200012

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考		ナンバリング
			必修	選択				
主 題 科 目	自然科学	2前		2	1	主 題 科 目 群 か ら 8 単 位 以 上		12200013
	美術	1前		1	1			12200021
	音楽	1後		1	1			12200022
	日本文学	1前		2	1			12200031
	日本語表現	1後		2	1			12200032
	哲学	3後		2	1			12203041
	宗教学	3前		2	1			12203042
	日本史Ⅰ	2前		2	1			12203051
	日本史Ⅱ	2前		2	1			12203052
	東洋史	4後		2	1			12203053
	西洋史	4前		2	1			12203054
	自然地理	4前		2	1			12203055
	人文地理	3前		2	1			12203056
	地誌	4後		2	1			12203057
	白山市の自然と文化	3後		2	1			12200014
	法学(憲法)Ⅰ	2前		2	1			12201043
	法学Ⅱ	2後		2	1			12200044
	政治学	3後		2	1			12203043
	経済学Ⅰ	2後		2	1			12203044
	経済学Ⅱ	3前		2	1			12203045
	データサイエンス	2後		1	1	8回授業	12200060	
	統計学	4前		2	1		12200015	
	教養ゼミⅠ	1前		1	1		12200091	
	教養ゼミⅡ	1後		1	1		12200092	
	教養ゼミⅢ	2前		1	1		12200093	
専 門 基 本 科 目	社会福祉概論Ⅰ	1前	2		1			13114101
	社会福祉概論Ⅱ	1後	2		1			13114002
	高齢者福祉論	1前	2		1			13114111
	障害者福祉論	1後	2		1			13114112
	介護福祉論Ⅰ	1前	2		1			13104221
	社会保障論Ⅰ	2前	2		1			13113131
	社会保障論Ⅱ	2後	2		1			13113132
	児童・家庭福祉論	2後		2	1	A群	A群7科目から8単位以上	13214013
	社会福祉史	1後		2	1			13204061
	介護福祉論Ⅱ	1後		2	1			13204222
	介護福祉論Ⅲ	3前		2	1			13200323
	心理学Ⅰ	1前		2	1			13213351
	心理学Ⅱ	1後		2	1			13213052
	社会学	1前		2	1			13213053
	公的扶助論	3前		2	1	B群	B群8科目から2単位以上	13213014
	地域福祉論Ⅰ	2前		2	1			13210041
	地域福祉論Ⅱ	2後		2	1			13210042
	社会福祉施設経営論	2後		2	1			13210054
	社会調査	3前		2	1			13210055
	医療福祉論	3後		2	1			13210034
権利擁護と成年後見	2前		2	1	13210036			
刑事司法と福祉	4前		2	1	13210037			

	科目名	配当年次	単位数		週授業 回数	備考	ナンバ リング
			必修	選択			
専門展開科目	ソーシャルワーク論Ⅰ	1前		2	1	ソーシャルワーク系 ソーシャルワーク系11科目 から8単位以上	14214001
	ソーシャルワーク論Ⅱ	1後		2	1		14214002
	ソーシャルワーク論Ⅲ	2前		2	1		14214003
	ソーシャルワーク論Ⅳ	2後		2	1		14214004
	ソーシャルワーク論Ⅴ	3前		2	1		14214005
	ソーシャルワーク論Ⅵ	3後		2	1		14214006
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2後		1	1		14210280
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	3前		1	1		14210081
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3後		1	1		14210082
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	4前		1	1		14210083
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	4後		1	1		14210084
	発達心理学Ⅰ	2前		2	1	心理学系・医療系 心理学・医療系科目を 含む12単位以上	14202011
	発達心理学Ⅱ	2後		2	1		14202012
	高齢者の心理	3後		2	1		14200015
	障害者の心理	3後		2	1		14200016
	臨床心理学Ⅰ	2前		2	1		14203013
	臨床心理学Ⅱ	2後		2	1		14203014
	カウンセリングⅠ	2後		2	1		14200007
	カウンセリングⅡ	2後		2	1		14200008
	医学一般	1前		2	1		14214071
	生活とところとからだ	1後		2	1		14204351
	ところとからだのしくみ	1後		2	1		14200352
	発達と老化の理解	2後		2	1		14200353
	障害の理解	2後		2	1		14200354
	健康論Ⅰ	2前		2	1		14204352
	健康論Ⅱ	2前		2	1		14204353
	生活とリハビリテーション	2後		1	1		14200261
	公衆衛生学	4前		2	1		14200071
	生理学	1前		2	1		14200357
	母子保健	2後		2	1		14200072
	認知症の理解Ⅰ	2前		2	1		14200358
	認知症の理解Ⅱ	3前		2	1		14200359
	医療的ケアⅠ	3後		2	1		14200462
	医療的ケアⅡ	4前		4	2		14200463
	ジェンダー	3後		2	1		14200073
	人間の尊厳と自立	1前		2	1		14200121
	人間関係とコミュニケーション	1後		2	1		14200122
	チームマネジメントⅠ	3後		2	1		14200123
	チームマネジメントⅡ	4前		1	1		14200231
	社会の理解	4前		2	1		14200124
	介護マネジメント	4前		2	1		14200232
	生活支援	2前		2	1		14200240
	生活支援技術Ⅰ	2前		2	2		14204241
	生活支援技術Ⅱ	2後		2	2		14200241
	生活支援技術Ⅲ	3前		1	1		14200242
	家事支援技術	3後		2	2		14200243
	アクティビティ・サービスⅠ	2前		2	1		14200233

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考	ナンバリング
			必修	選択			
	アクティビティ・サービスⅡ	2後		1	1	隔週開講	14200244
	アクティビティ援助特別演習	3通		1	1		14200064
	コミュニケーション技術	2前		1	1		14200234
	手話	4前		1	1		14200066
	点字	4前		1	1		14200067
	介護過程	2後		2	1		14200245
	介護過程演習Ⅰ	2後		1	1		14200246
	介護過程演習Ⅱ	3前		1	1		14200247
	介護過程演習Ⅲ	3後		2	2		14200248
	介護総合演習Ⅰ	2通		1	1		14200280
	介護総合演習Ⅱ	2後～3前		1	1		14200281
	介護総合演習Ⅲ	3通		1	1		14200282
	介護総合演習Ⅳ	4通		1	1	隔週開講	14200283
	介護実習Ⅰ	2前		2	集中	学外実習、評価は2年後期	14204284
	介護実習Ⅱ	2後		3	集中	学外実習、評価は3年前期	14200284
	介護実習Ⅲ	3前		4	集中	学外実習、評価は3年後期	14200285
	介護実習Ⅳ	4前		1	集中	学外実習、評価は4年後期	14200286
	社会保障法Ⅰ	4後		2	1		14203074
	社会保障法Ⅱ	4後		2	1		14203075
	国際福祉政策	4前		2	1		14203076
	海外文化・福祉事情	1後～2前		2	1	実習含む	14200074
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3前		1	1	評価は4年前期	14210085
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3後		1	1	評価は4年前期	14210086
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	4通		1	1	評価は4年後期、隔週	14210087
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	3前		1	集中	学外実習、評価は4年前期	14214088
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	3後		3	集中	学外実習、評価は4年前期	14214089
	ソーシャルワーク実習Ⅲ	4前		1	集中	学外実習、評価は4年後期	14214090
	基礎ゼミⅠ	3前	1		1		14100091
	基礎ゼミⅡ	3後	1		1		14100092
	卒業研究ゼミⅠ	4前	1		1		14100093
	卒業研究ゼミⅡ	4後	1		1		14100094
	福祉総合学習	4前		2	集中		14200097
	福祉総合演習	4後		1	1		14200098
	卒業論文	4通	4		集中		14100095
留学生科目	日本語Ⅰ	1前		2	2		15200041
	日本語Ⅱ	1後		2	2		15200042
	日本語Ⅲ	2前		2	2		15200043
	言葉と文化(日本語)Ⅰ	2後		1	1		15200044
	言葉と文化(日本語)Ⅱ	3前		1	1		15200045
卒業要件							
		基礎・主題科目	30単位以上				
		専門基本科目	26単位以上				
		専門展開科目	40単位以上				
合 計 124単位以上							
(全ての分野から自由に選択できる28単位を含む)							

注1) 留学生は、留学生科目の単位を、基礎科目の外国語系科目の単位に代えることができる。
 注2) ボランティア活動Ⅰ、介護実習Ⅰ、ソーシャルワーク実習Ⅰ、教育実習Ⅰの科目から1単位以上を取得すること。

教職科目

	科目名	配当年次	単位数	週授業回数	備考	ナンバリング
			自由			
教職科目	教職入門	2前	2	1		16302001
	教育概論Ⅰ	2前	2	1		16302002
	教育概論Ⅱ	2後	2	1		16302003
	教育心理学	4後	2	1		16302011
	教育制度論	2後	2	1		16302021
	福祉科教育法Ⅰ	3前	2	1		16304001
	福祉科教育法Ⅱ	3後	2	1		16304002
	特別支援教育概論	4前	2	1		16302031
	総合的な学習の時間の指導法	3前	2	1		16302042
	特別活動の指導法	4前	2	1		16302043
	教育方法論	2後	2	1		16302044
	教育とICT活用	2後	1	1	8回授業	16302045
	生徒・進路指導論	3後	2	1		16302046
	教育相談の基礎	4前	2	1		16302047
	教職実践演習(中・高)	4後	2	1		16302086
	教育実習指導	3後～4後	1	1		16302081
	教育実習Ⅰ	4通	2	集中	学外実習	16302082

注) 教職科目は、卒業単位に含まれない。

2. 子ども教育保育学科教育課程表

子ども教育保育学科は、厚生労働省より定員60人の指定保育士養成施設として指定されています。
なお、配当年次については、変更する可能性があります。

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考		ナンバリング
			必修	選択				
基礎科目	スポーツ	1前	1		1			21101101
	スポーツ理論	1後	2		1			21101102
	レクリエーション活動Ⅰ	3前		1	1			21200011
	レクリエーション活動Ⅱ	3後		1	1			21200012
	英語Ⅰ	1前	1		1			21101121
	英語Ⅱ	1後	1		1			21101122
	英語Ⅲ	2前	1		1			21100023
	英語Ⅳ	2後		1	1			21200024
	言葉と文化(英語)Ⅰ	2前		1	1	外国語系	英語または中国語を選択し 2単位以上	21200025
	言葉と文化(英語)Ⅱ	2後		1	1			21200026
	言葉と文化(中国語)Ⅰ	2前		1	1			21200031
	言葉と文化(中国語)Ⅱ	2後		1	1			21200032
	言葉と文化(英語)Ⅲ	3前		1	1			21200027
	言葉と文化(英語)Ⅳ	3後		1	1			21200028
	言葉と文化(中国語)Ⅲ	3前		1	1			21200033
	言葉と文化(中国語)Ⅳ	3後		1	1			21200034
	学習方法演習Ⅰ	1前	1		1			21100091
	学習方法演習Ⅱ	1後	1		1			21100092
	基礎演習Ⅰ	2前	1		1			21100093
	基礎演習Ⅱ	2後	1		1			21100094
	情報処理演習Ⅰ	1後		1	1	情報系	1単位以上	21201161
	情報処理演習Ⅱ	2前		1	1			21200162
主題科目	ボランティア入門	1前	2		1			22100001
	ボランティア活動Ⅰ	1通		1	集中			22200002
	ボランティア活動Ⅱ	2通		1	集中			22200003
	健康科学	3前		2	1			22200011
	生命科学	3後		2	1			22200012
	自然科学	3前		2	1			22200013
	日本文学	3後		2	1			22201031
	自然地理	4前		2	1			22201055
	地誌	4後		2	1			22201057
	白山市の自然と文化	3後		2	1			22200014
	日本史Ⅰ	3前		2	1			22201051
	日本史Ⅱ	3前		2	1			22201052
	日本語表現	1後		2	1			22200032
	哲学	3後		2	1			22200041
	宗教学	3前		2	1			22200042
	東洋史	4後		2	1			22200053
	西洋史	4前		2	1		主題科目群から8単位以上	22200054
	人文地理	3前		2	1			22200056
	器楽Ⅰ	1後	1		1			22107021
	器楽Ⅱ	2前	1		1			22107022
	器楽Ⅲ	2後	1		1			22107023
	器楽Ⅳ	3前		1	1			22207024

	科目名	配当年次	単位数		週授業 回数	備考	ナンバ リング
			必修	選択			
主 題 科 目	幼児体育	1後		1	1	8回授業	22200004
	子どもと文化	3後		1	1		22201033
	法学(憲法)Ⅰ	3前		2	1		22200143
	法学Ⅱ	3後		2	1		22200044
	政治学	4後		2	1		22200045
	経済学Ⅰ	3後		2	1		22201046
	経済学Ⅱ	4前		2	1		22201047
	データサイエンス	2後		1	1		22200060
	統計学	4前		2	1		22200015
	教養ゼミⅠ	1前		1	1		22200091
	教養ゼミⅡ	1後		1	1		22200092
	教養ゼミⅢ	2前		1	1		22200093
専 門 基 本 科 目	社会福祉概論Ⅰ	1前	2		1		23112001
	社会福祉概論Ⅱ	1後	2		1		23110002
	高齢者福祉論	3前	2		1		23110011
	障害者福祉論	2後	2		1		23113012
	児童・家庭福祉論	1後	2		1		23112013
	介護福祉論Ⅰ	3前	2		1		23100021
	社会福祉史	4後		2	1	A 群	23200061
	介護福祉論Ⅱ	3後		2	1		23200022
	心理学Ⅰ	1前		2	1		23211051
	心理学Ⅱ	1後		2	1		23211052
	社会学	1前		2	1		23211053
	社会保障論Ⅰ	3前		2	1		23210031
	社会保障論Ⅱ	3後		2	1		23210032
	公的扶助論	3前		2	1	B 群	23210014
	地域福祉論Ⅰ	3前		2	1		23210041
	地域福祉論Ⅱ	3後		2	1		23210042
	社会福祉施設経営論	2後		2	1		23210054
	社会調査	3前		2	1		23210055
	医療福祉論	3後		2	1		23210034
	権利擁護と成年後見	4前		2	1		23210036
	刑事司法と福祉	4前		2	1		23210037
専 門 展 開 科 目	ソーシャルワーク論Ⅰ	1前		2	1	ソ ー シ ャ ル ワ ー ク 系	24210001
	ソーシャルワーク論Ⅱ	1後		2	1		24210002
	ソーシャルワーク論Ⅲ	2前		2	1		24210003
	ソーシャルワーク論Ⅳ	2後		2	1		24210004
	ソーシャルワーク論Ⅴ	3前		2	1		24210005
	ソーシャルワーク論Ⅵ	3後		2	1		24210006
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2後		1	1		24210080
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	3前		1	1		24210081
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3後		1	1		24210082
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	4前		1	1		24210083
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	4後		1	1		24210084
	子育て支援	3前		1	1		24206051
	子ども家庭支援論	2後		2	1		24202021
	保育者論	2前		2	1		24202022
	幼児教育者論	1前	2		1		24103315
	幼児教育原理	1前	2		1		24102314

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考		ナンバリング
			必修	選択				
専門展開科目	教育課程総論	1 前	1		1			24106316
	教育課程論	1 前	2		1			24106317
	保育方法論	3 前	2		1			24107031
	保育原理Ⅰ	1 前	2		1			24102023
	保育原理Ⅱ	1 後		2	1			24203031
	社会的養護Ⅰ	1 前	2		1			24102024
	社会的養護Ⅱ	1 後		1	1			24206052
	発達心理学Ⅰ	2 前		2	1			24204412
	発達心理学Ⅱ	2 後		2	1			24205413
	子どもの理解と援助	3 前		1	1			24204041
	幼児教育心理学	2 前		2	1			24200411
	臨床心理学Ⅰ	3 前		2	1			24200061
	臨床心理学Ⅱ	3 後		2	1			24200062
	カウンセリングⅠ	3 後		2	1			24200063
	カウンセリングⅡ	3 後		2	1			24200064
	幼児理解と教育相談	3 前	2		1			24100311
	子ども家庭支援の心理学	3 後		2	1			24204042
	医学一般	2 前		2	1			24210076
	公衆衛生学	4 前		2	1			24200066
	生理学	4 前		2	1			24200067
	母子保健	2 後		2	1			24200068
	子どもの保健	1 後		2	1			24204043
	子どもの健康と安全	2 前		1	1			24206053
	障害児保育	2 前		2	1			24203421
	障害児保育演習Ⅰ	2 後		1	1			24206054
	障害児保育演習Ⅱ	3 前		1	1			24206055
	特別支援教育概論	4 前		2	1			24200312
	手話	4 前		1	1			24200071
	点字	4 前		1	1			24200072
	幼児と健康	1 後	2		1			24107210
	幼児と人間関係	1 前	2		1			24107220
	幼児と環境	1 後	2		1			24107230
	幼児と言葉	1 前	2		1			24107240
	幼児と音楽表現	1 後	2		1			24107250
	幼児と造形表現	1 後	2		1			24107260
	保育内容（健康）指導法Ⅰ	2 前	1		1			24106211
	保育内容（健康）指導法Ⅱ	2 後	1		1			24106212
	保育内容（人間関係）指導法Ⅰ	2 前	1		1			24106221
	保育内容（人間関係）指導法Ⅱ	2 後	1		1			24106222
	保育内容（環境）指導法	2 前	1		1			24106231
	保育内容（言葉）指導法Ⅰ	1 後	1		1			24106241
	保育内容（言葉）指導法Ⅱ	2 前	1		1			24106242
	保育内容（音楽表現）指導法Ⅰ	2 前	1		1			24106251
	保育内容（音楽表現）指導法Ⅱ	2 後	1		1			24106252
	保育内容（造形表現）指導法Ⅰ	2 前	1		1			24106261
	保育内容（造形表現）指導法Ⅱ	2 後	1		1			24106262
	子どもの食と栄養Ⅰ	3 前		1	1			24204044
	子どもの食と栄養Ⅱ	3 後		1	1			24204045
	乳児保育Ⅰ	1 前		2	1			24206056

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考	ナンバリング
			必修	選択			
専門展開科目	乳児保育Ⅱ	1後		1	1		24206057
	保育実習指導Ⅰ－A	2前		1	1		24208082
	保育実習指導Ⅰ－B	2通		1	1		24208083
	保育実習Ⅰ－A	2前		2	集中	学外実習	24208084
	保育実習Ⅰ－B	2通		2	集中	学外実習	24208085
	保育実習指導Ⅱ	2後		1	集中		24208086
	保育実習Ⅱ	2後		2	集中	学外実習	24208087
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3前		1	1	評価は4年前期	24210085
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3後		1	1	評価は4年前期	24210086
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	4前		1	1	評価は4年後期	24210087
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	3前		1	集中	学外実習、評価は4年前期	24210088
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	3後		3	集中	学外実習、評価は4年前期	24210089
	ソーシャルワーク実習Ⅲ	4前		1	集中	学外実習、評価は4年後期	24210090
	幼児教育実習指導	3前～4前		1	1		24200380
	幼児教育実習Ⅰ	3後		2	集中	学外実習	24200381
	幼児教育実習Ⅱ	4前		2	集中	学外実習	24200382
	早期現場体験指導	1後		1	1		24200080
	早期現場体験	1後		1	集中	学外実習	24200081
	教育制度論	2後		2	1		24200313
	保育・教職実践演習(幼稚園)	4後		2	1		24209380
	ジェンダー	3後		2	1		24200073
	海外文化・福祉事情	1後～2前		2	1	実習含む	24200074
	国際福祉政策	4前		2	1		24200075
	基礎ゼミⅠ	3前	1		1		24100091
	基礎ゼミⅡ	3後	1		1		24100092
	卒業研究ゼミⅠ	4前	1		1		24100093
	卒業研究ゼミⅡ	4後	1		1		24100094
	福祉総合学習	4前		2	集中		24200097
	福祉総合演習	4後		1	1		24200098
	卒業論文	4通	4		集中		24100095
留学生科目	日本語Ⅰ	1前		2	2		25200041
	日本語Ⅱ	1後		2	2		25200042
	日本語Ⅲ	2前		2	2		25200043
	言葉と文化(日本語)Ⅰ	2後		1	1		25200044
	言葉と文化(日本語)Ⅱ	3前		1	1		25200045
卒業要件		基礎・主題科目	30単位以上				
		専門基本科目	26単位以上				
		専門展開科目	50単位以上				
合 計		124単位以上					
		(全ての分野から自由に選択できる18単位を含む)					

注1) 留学生は、留学生科目の単位を、基礎科目の外国語系科目の単位に代えることができる。
 注2) ボランティア活動Ⅰ、保育実習Ⅰ－A、保育実習Ⅰ－B、ソーシャルワーク実習Ⅰ、幼児教育実習Ⅰ、早期現場体験の科目から1単位以上を取得すること。

3. 理学療法学科教育課程表

理学療法学科は、文部科学省より定員 60 人の理学療法士学校として指定されています。そのため、指定科目を履修して卒業すれば、理学療法士国家試験受験資格が得られます。

なお、配当年次については、変更する可能性があります。

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考	ナンバリング
			必修	選択			
基礎科目	スポーツ	1 後	1		1		41110108
	スポーツ理論	2 後		2	1		41210128
	レクリエーション活動Ⅰ	1 前		1	1		41210113
	レクリエーション活動Ⅱ	1 後		1	1		41210119
	英語Ⅰ	1 前	1		1		41110101
	英語Ⅱ	1 前	1		1		41110102
	英語Ⅲ	1 後	1		1		41110109
	英語Ⅳ	1 後	1		1		41110110
	言葉と文化(英語)Ⅰ	2 前		1	1		41210129
	言葉と文化(英語)Ⅱ	2 後		1	1		41210134
	言葉と文化(中国語)Ⅰ	2 前		1	1		41210130
	言葉と文化(中国語)Ⅱ	2 後		1	1		41210135
	医学英語	3 後		1	1		41210139
	情報処理演習	1 前	1		1		41110103
	基礎演習Ⅰ	1 前	1		1		41110104
	基礎演習Ⅱ	1 後	1		1		41110111
主題科目	ボランティア入門	1 前	2		1		42110105
	ボランティア活動Ⅰ	1 通		1	集中		42210114
	ボランティア活動Ⅱ	2 通		1	集中		42210131
	健康科学	1 前	1		1		42110106
	生命と医療の倫理	1 後	1		1		42110112
	データサイエンス	1 後		1	1	8回授業	42210148
	統計学	3 後		1	1		42210143
	自然科学Ⅰ(生物系)	1 前		2	1		42210115
	自然科学Ⅱ(物理系)	1 後		2	1		42210121
	自然科学Ⅲ(数学系)	1 前		2	1		42210116
	自然科学Ⅳ(化学系)	1 後		2	1		42210122
	自然科学概論	1 前		2	1		42210117
	心理学Ⅰ	1 前	2		1		42110107
	心理学Ⅱ	1 後		2	1		42210123
	人文地理	3 前		2	1		42210140
	社会学	2 後		2	1		42210136
	ソーシャルワーク論Ⅰ	3 前		2	1		42210141
	ソーシャルワーク論Ⅱ	4 後		2	1		42210146
	介護福祉論Ⅰ	3 前		2	1		42210142
	介護福祉論Ⅱ	4 後		2	1		42210147
	高齢者福祉論	1 前		2	1		42210118
	障害者福祉論	1 後		2	1		42210124
	法学(憲法)Ⅰ	2 前		2	1		42210132
	法学Ⅱ	2 後		2	1		42210137
	医療関係法	3 後		2	1		42210144
	美術	1 後		2	1		42210125

	科目名	配当年次	単位数		週授業 回数	備考	ナンバ リング
			必修	選択			
主 題 科 目	日本文学Ⅰ	2前		2	1		42210133
	日本文学Ⅱ	2後		2	1		42210138
	日本史Ⅰ	1前		2	1		42210126
	日本史Ⅱ	1前		2	1		42210127
	東洋史	3後		2	1		42210145
専 門 基 本 科 目	解剖学Ⅰ	1前	2		1	後期は集中講義	43110201
	解剖学Ⅱ	1通	1		1		43110202
	解剖学Ⅲ	1後	1		1		43110206
	解剖学Ⅳ	2前		1	1		43210212
	解剖学実習	1前	1		2		43110203
	生理学Ⅰ	1前	1		1		43110204
	生理学Ⅱ	1後	1		1		43110207
	生理学実習	1後	1		2		43110205
	運動学Ⅰ	2前	1		1		43110208
	運動学Ⅱ	2後	1		1		43110210
	運動学実習	2後	1		2		43110211
	人間発達学	2前	1		1	8回授業 8回授業	43110209
	医学概論	1後	1		1		43110302
	病理学	2後	1		1		43110312
	臨床心理学Ⅰ	2前	1		1		43110305
	臨床心理学Ⅱ	2後		1	1		43210317
	カウンセリング演習	3後		1	1		43210318
	高齢者の心理	4後		2	1		43210319
	障害者の心理	4後		2	1		43210320
	精神医学	2前	1		1		43110306
	内科学Ⅰ	2前	1		1		43110307
	内科学Ⅱ	2後	1		1		43110313
	整形外科Ⅰ	2前	1		1		43110308
	整形外科Ⅱ	2後	1		1		43110314
	神経内科学Ⅰ	2前	1		1		43110309
	神経内科学Ⅱ	2後	1		1		43110315
	小児科学	2前	1		1		43110310
	老年学	2前	1		1		43110311
	安全管理	1後	1		1		43110303
	感染防御	1後	1		1		43110304
	公衆衛生学	1前	2		1		43110301
	栄養・薬理学	3後	1		1		43110316
	リハビリテーション医学	1後	1		1		43110402
	リハビリテーション概論	1前	1		1		43110401
	地域リハビリテーション学	3前	2		1		43110403
	社会福祉概論Ⅰ	1前		2	1		43210404
	社会福祉概論Ⅱ	1後		2	1		43210405
	ケアマネジメント	4後		2	1		43210406
専 門 展 開 科 目	理学療法学概論	1前	2		1	8回授業	44111101
	基礎理学療法治療学	2前	2		1		44111102
	理学療法研究法	3前	1		1		44111103
	病態運動学	3前	2		1		44111104
	理学療法管理学	3後	2		1		44111501
	理学療法評価概論	1後	1		1		44111201

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考	ナンバリング
			必修	選択			
専門展開科目	検査・測定論Ⅰ	2前	1		1	8回授業	44111202
	検査・測定論Ⅱ	2後	1		1		44111204
	検査・測定実習Ⅰ	2前	1		2		44111203
	検査・測定実習Ⅱ	2後	1		2		44111205
	理学療法画像評価学	3前	1		1		44111206
	運動療法学Ⅰ	2前	2		1		44111301
	運動療法学Ⅱ	2後	2		1		44111304
	運動療法学実習	3前	1		2		44111307
	物理療法学	2前	2		1		44111302
	物理療法実習	2後	1		2		44111305
	義肢装具学	3前	2		1		44111308
	義肢装具実習	3後	1		2		44111315
	日常生活活動学	2前	2		1		44111303
	日常生活活動実習	2後	1		2		44111306
	理学療法治療学Ⅰ（運動器）	3前	1		1		44111309
	理学療法治療学Ⅱ（中枢1）	3前	1		1		44111310
	理学療法治療学Ⅲ（中枢2）	3前	1		1		44111311
	理学療法治療学Ⅳ（内部疾患）	3前	1		1		44111312
	理学療法治療学Ⅴ（小児）	3前	1		1		44111313
	スポーツリハビリテーション	2後		1	1		44211317
	リハビリテーション・マネジメント演習	3通		1	集中		44211318
	理学療法治療学実習Ⅰ	3前	1		2	44111314	
	理学療法治療学実習Ⅱ	3後	1		2	44111316	
	地域理学療法学	3前	2		1	44111401	
	生活環境学	3後	2		1	44111402	
	地域福祉論	3前		2	1	44211403	
	総合臨床実習Ⅰ（通所・訪問）	2通	1		集中	学外実習（事前事後指導含む）	44112101
	総合臨床実習Ⅱ（評価）	3後	5		集中	学外実習（事前事後指導含む）	44112102
	総合臨床実習Ⅲ	4通	16		集中	学外実習（事前事後指導含む）	44112103
	地域支援実習	1通		1	集中	学外実習（事前事後指導含む）	44213108
	見学実習	1通	1		1+集中		44113101
	客観的臨床能力評価	2通	1		1+集中		44113102
	基礎ゼミⅠ	3前	1		1		44113103
	基礎ゼミⅡ	3前		1	1		44213109
	卒業研究ゼミⅠ	3後	1		1		44113104
	卒業研究ゼミⅡ	4後	1		1		44113106
	卒業論文	3後～4通	3		集中		44113105
	総合学習	4後	1		集中		44113107
卒業要件		基礎・主題科目	20単位以上				
		専門基本科目	34単位以上				
		専門展開科目	71単位以上				
合 計		127単位以上					
		（全ての分野から自由に選択できる2単位を含む）					

4. 作業療法学科教育課程表

作業療法学科は、文部科学省より定員 30 人の作業療法士学校として指定されています。そのため、指定科目を履修して卒業すれば、作業療法士国家試験受験資格が得られます。

なお、配当年次については、変更する可能性があります。

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考	ナンバリング
			必修	選択			
基礎科目	スポーツ	1後	1		1		51110108
	スポーツ理論	2後		2	1		51210128
	レクリエーション活動Ⅰ	1前		1	1		51210113
	レクリエーション活動Ⅱ	1後		1	1		51210119
	英語Ⅰ	1前	1		1		51110101
	英語Ⅱ	1前	1		1		51110102
	英語Ⅲ	1後	1		1		51110109
	英語Ⅳ	1後	1		1		51110110
	言葉と文化(英語)Ⅰ	2前		1	1		51210129
	言葉と文化(英語)Ⅱ	2後		1	1		51210134
	言葉と文化(中国語)Ⅰ	2前		1	1		51210130
	言葉と文化(中国語)Ⅱ	2後		1	1		51210135
	医学英語	3後		1	1		51210139
	情報処理演習	1前	1		1		51110103
	基礎演習Ⅰ	1前	1		1		51110104
	基礎演習Ⅱ	1後	1		1		51110111
主題科目	ボランティア入門	1前	2		1		52110105
	ボランティア活動Ⅰ	1通		1	集中		52210114
	ボランティア活動Ⅱ	2通		1	集中		52210131
	健康科学	1前	1		1		52110106
	生命と医療の倫理	1後	1		1		52110112
	データサイエンス	1後		1	1	8回授業	52210148
	統計学	3後		1	1		52210143
	自然科学Ⅰ(生物系)	1前		2	1		52210115
	自然科学Ⅱ(物理系)	1後		2	1		52210121
	自然科学Ⅲ(数学系)	1前		2	1		52210116
	自然科学Ⅳ(化学系)	1後		2	1		52210122
	自然科学概論	1前		2	1		52210117
	心理学Ⅰ	1前	2		1		52110107
	心理学Ⅱ	1後		2	1		52210123
	人文地理	3前		2	1		52210140
	社会学	2後		2	1		52210136
	ソーシャルワーク論Ⅰ	3前		2	1		52210141
	ソーシャルワーク論Ⅱ	4後		2	1		52210146
	介護福祉論Ⅰ	3前		2	1		52210142
	介護福祉論Ⅱ	4後		2	1		52210147
	高齢者福祉論	1前		2	1		52210118
	障害者福祉論	1後		2	1		52210124
	法学(憲法)Ⅰ	2前		2	1		52210132
	法学Ⅱ	2後		2	1		52210137
	医療関係法	3後		2	1		52210144
	美術	1後		2	1		52210125

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考	ナンバリング
			必修	選択			
主 題 科 目	日本文学Ⅰ	2前		2	1		52210133
	日本文学Ⅱ	2後		2	1		52210138
	日本史Ⅰ	1前		2	1		52210126
	日本史Ⅱ	1前		2	1		52210127
	東洋史	3後		2	1		52210145
専 門 基 本 科 目	解剖学Ⅰ	1前	2		1	後期は集中講義	53110201
	解剖学Ⅱ	1通	1		1		53110202
	解剖学Ⅲ	1後	1		1		53110206
	解剖学Ⅳ	2前		1	1		53210212
	解剖学実習	1前	1		2		53110203
	生理学Ⅰ	1前	1		1		53110204
	生理学Ⅱ	1後	1		1		53110207
	生理学実習	1後	1		2		53110205
	運動学Ⅰ	2前	1		1		53110208
	運動学Ⅱ	2後	1		1		53110210
	運動学実習	2後	1		2		53110211
	人間発達学	2前	1		1		53110209
	医学概論	1後	1		1		53110301
	病理学	2後	1		1		53110311
	臨床心理学Ⅰ	2前	1		1		53110304
	臨床心理学Ⅱ	2後		1	1		53210317
	カウンセリング演習	3後		1	1		53210318
	高齢者の心理	4後		2	1		53210319
	障害者の心理	4後		2	1		53210320
	精神医学	2前	1		1		53110305
	内科学Ⅰ	2前	1		1		53110306
	内科学Ⅱ	2後	1		1		53110312
	整形外科Ⅰ	2前	1		1		53110307
	整形外科Ⅱ	2後	1		1		53110313
	神経内科学Ⅰ	2前	1		1		53110308
	神経内科学Ⅱ	2後	1		1		53110314
	小児科学	2前	1		1		53110309
	老年学	2前	1		1		53110310
	安全管理	1後	1		1	8回授業	53110302
	感染防御	1後	1		1	8回授業	53110303
	公衆衛生学	1前		2	1		53210316
	栄養・薬理学	3後	1		1		53110315
	リハビリテーション医学	1後	1		1		53110402
	リハビリテーション概論	1前	1		1		53110401
	地域リハビリテーション学	3前	2		1		53110403
	社会福祉概論Ⅰ	1前		2	1		53210404
	社会福祉概論Ⅱ	1後		2	1		53210405
	ケアマネージメント	4後		2	1		53210406
専 門 展 開 科 目	作業療法学概論	1前	2		1		54111101
	基礎作業療法学	2後	1		1		54111102
	作業療法研究法	3前	1		1		54111103
	作業科学と運動・動作分析	3前	1		1		54111104
	作業療法管理学	3後	2		1		54111501
	作業療法評価概論	1後	1		1		54111201

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考	ナンバリング
			必修	選択			
専門展開科目	検査・測定論Ⅰ	2前	1		1		54111202
	検査・測定論Ⅱ	2後	1		1		54111204
	検査・測定実習Ⅰ	2前	1		2		54111203
	検査・測定実習Ⅱ	2後	1		2		54111205
	作業療法治療学Ⅰ(身体)	2前	2		1		54111301
	作業療法治療学Ⅱ(整形系)	2前	2		1		54111302
	作業療法治療学Ⅲ(中枢)	2後	2		1		54111304
	作業療法治療学Ⅳ(精神)	2後	2		1		54111305
	作業療法治療学Ⅴ(内部疾患)	3前	2		1		54111308
	作業療法治療学Ⅵ(老年期)	3前	1		1		54111309
	作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能)	3前	1		1		54111310
	作業療法治療学Ⅷ(発達)	3前	1		1		54111311
	作業療法治療学実習Ⅰ(身体)	2後	1		2		54111306
	作業療法治療学実習Ⅱ(中枢)	3後	1		2		54111314
	作業療法治療学実習Ⅲ(精神)	3前	1		2		54111312
	義肢装具学	3前	2		1		54111313
	義肢装具実習	3後	1		2		54111315
	日常生活活動学	2前	2		1		54111303
	日常生活活動実習	2後	1		2		54111307
	スポーツリハビリテーション	2後		1	1		54211317
	作業学	3後	1		1		54111316
	地域作業療法学	3前	2		1		54111401
	生活環境学	3前	2		1		54111402
	地域福祉論	3前		2	1		54211403
	総合臨床実習Ⅰ(通所・訪問)	2通	1		集中		54112101
	総合臨床実習Ⅱ(評価)	3後	5		集中	学外実習(事前事後指導含む)	54112102
	総合臨床実習Ⅲ	4通	16		集中	学外実習(事前事後指導含む)	54112103
	地域支援実習	1通		1	集中		54213111
	見学実習	1通	1		1+集中	学外実習(事前事後指導含む)	54113101
	基礎実習Ⅰ	2通	1		1		54113102
	基礎実習Ⅱ	3通	1		1		54113105
	基礎実習Ⅲ(学外)	2通	1		集中	学外実習	54113103
	客観的臨床能力評価	2～4通	1		集中		54113104
	基礎ゼミⅠ	3前	1		1		54113106
	基礎ゼミⅡ	3前		1	1		54213112
	卒業研究ゼミⅠ	3後	1		1		54113107
	卒業研究ゼミⅡ	4後	1		1		54113109
	卒業論文	3後～4通	3		集中		54113108
	総合学習	4後	1		集中		54113110
卒業要件		基礎・主題科目	20単位以上				
		専門基本科目	32単位以上				
		専門展開科目	73単位以上				
合 計			127単位以上				
(全ての分野から自由に選択できる2単位を含む)							

5. 看護学科教育課程表

看護学科は、文部科学省より定員 80 人の看護師学校として指定されています。そのため、指定科目を履修して卒業すれば、看護師国家試験受験資格が得られます。

なお、配当年次については、変更する可能性があります。

	科目名	配当年次	単位数		週授業回数	備考	ナンバリング
			必修	選択			
基礎科目	スポーツ	1 前	1		1		71110101
	スポーツ理論	2 前		2	1		71210102
	レクリエーション活動Ⅰ	1 前		1	1		71210111
	レクリエーション活動Ⅱ	1 後		1	1		71210112
	英語Ⅰ	1 前	1		1		71110121
	英語Ⅱ	1 前	1		1		71110122
	英語Ⅲ	1 後	1		1		71110123
	英語Ⅳ	1 後	1		1		71110124
	言葉と文化(英語)Ⅰ	2 前		1	1		71210125
	言葉と文化(英語)Ⅱ	2 後		1	1		71210126
	言葉と文化(中国語)Ⅰ	2 前		1	1		71210131
	言葉と文化(中国語)Ⅱ	2 後		1	1		71210132
	医療英語	1 後	1		1		71110126
	情報処理演習	1 前	1		1		71110141
	基礎演習Ⅰ(スタディスキル)	1 前	1		1		71110151
	基礎演習Ⅱ(プロフェッショナルスキル)	1 後	1		1		71110152
主題科目	ボランティア入門	1 前	2		1		72110101
	ボランティア活動Ⅰ	1 通		1	集中		72210102
	ボランティア活動Ⅱ	2 通		1	集中		72210103
	データサイエンス	1 後		1	1	8 回授業	72210119
	統計学	2 後		1	1		72210111
	自然科学Ⅰ(生物系)	1 前		2	1		72210121
	自然科学Ⅱ(物理系)	1 後		2	1		72210122
	自然科学Ⅲ(数学系)	1 前		2	1		72210123
	自然科学Ⅳ(化学系)	1 後		2	1		72210124
	自然科学概論	1 前		2	1		72210125
	心理学Ⅰ	1 前	2		1		73110341
	心理学Ⅱ	1 後		2	1		73210342
	白山市の自然と文化	1 後		2	1		72210113
	社会学	2 後		2	1		72210131
	ソーシャルワーク論Ⅰ	3 前		2	1		72210132
	ソーシャルワーク論Ⅱ	4 後		2	1		72210133
	介護福祉論Ⅰ	3 前		2	1		72210134
	介護福祉論Ⅱ	4 後		2	1		72210135
	高齢者福祉論	1 前		2	1		72210136
	障害者福祉論	1 後		2	1		72210137
	法学(憲法)Ⅰ	2 前		2	1		72210141
	法学Ⅱ	2 後		2	1		72210142
	医療関係法	4 後		2	1		72210143
	美術	1 後		2	1		72210114
	日本文学Ⅰ	2 前		2	1		72210115
	日本文学Ⅱ	2 後		2	1		72210116

	科目名	配当年次	単位数		週授業 回数	備考	ナンバ リング
			必修	選択			
科目主題	日本史Ⅰ	1前		2	1		72210117
	日本史Ⅱ	1前		2	1		72210118
専門基本科目	解剖生理学Ⅰ(総論、運動器、体液・血液)	1前	2		1		73110201
	解剖生理学Ⅱ(血液循環、呼吸、消化吸収、内分泌)	1後	2		1		73110202
	解剖生理学Ⅲ(泌尿生殖器、神経系)	2前	2		1		73110203
	栄養代謝学	1前	1		1	8回授業	73110211
	微生物学	1後	1		1	8回授業	73110212
	医学概論	1前	1		1	8回授業	73110301
	病理病態学	1後	2		1	15回授業	73110302
	診断治療学Ⅰ(内科系)	2前	2		1		73110311
	診断治療学Ⅱ(外科系)	2前	1		1	8回授業	73110312
	診断治療学Ⅲ(周産期)	2後	1		1	8回授業	73110313
	診断治療学Ⅳ(小児)	2後	1		1	11回授業	73110314
	診断治療学Ⅴ(精神)	2後	1		1	8回授業	73110315
	臨床栄養学	1後	1		1	8回授業	73110321
	臨床薬理学	2前	2		1		73110322
	リハビリテーション概論	1前		1	1	8回授業	73210331
	臨床心理学Ⅰ	2前	1		1	8回授業	73110343
	臨床心理学Ⅱ	2後		1	1	8回授業	73210344
	カウンセリング演習	2後	1		1		73110345
	高齢者の心理	4後		2	1		73210346
	障害者の心理	4後		2	1		73210347
	安全管理	2前	1		1	8回授業	73110323
	感染防御	2前	1		1	8回授業	73110324
	保健医療概論	1前	1		1	8回授業	73110401
	保健医療制度論	1後	1		1	8回授業	73110402
	社会保障制度論	1後		1	1	8回授業	73210403
	石川県・白山市の保健医療事情	1後		1	1	8回授業	73210404
	看護マネジメント論	2後	1		1	8回授業	73110411
	公衆衛生学	1前	2		1		73110421
	疫学・保健統計入門	2後	1		1	8回授業	73110422
	社会福祉概論Ⅰ	1前		2	1		73210431
	社会福祉概論Ⅱ	1後		2	1		73210432
専門展開科目	看護概論	1前	2		1		74111101
	看護理論	1後	1		1	8回授業	74111102
	看護倫理	1後	1		1	8回授業	74111103
	看護情報論	3前		1	1	8回授業	74211104
	基礎看護学方法論Ⅰ(生活の援助技術)	1後	1		1	8回授業	74111111
	基礎看護学方法論Ⅱ(診療の援助技術)	2前	2		1		74111112
	基礎看護学方法論演習Ⅰ(生活の援助技術)	1後	2		2		74111121
	基礎看護学方法論演習Ⅱ(診療の援助技術)	2前	1		1		74111122
	基礎看護過程論	2前	1		1		74111123
	基礎看護学実習Ⅰ(早期体験実習)	1通	1		集中	学外実習	74111131
	基礎看護学実習Ⅱ(療養生活援助実習)	2通	2		集中	学外実習	74111132
	地域・在宅看護学概論Ⅰ(健康・生活支援)	1後	1		1	8回授業	74111201
	地域・在宅看護学概論Ⅱ(療養・生活支援)	2後	1		1	8回授業	74111211
	地域・在宅看護学演習	2後	1		1		74111212
	地域・在宅看護学実践論	3前	2		1		74111221
	地域・在宅看護技術演習	3前	1		1		74111231

	科目名	配当年次	単位数		週授業 回数	備考	ナンバ リング
			必修	選択			
専門展開科目	地域・在宅看護学実習	4前	2		集中	学外実習	74111241
	成人看護学概論	1後	1		1	8回授業	74111301
	成人看護論Ⅰ(慢性期・終末期)	2前	2		1		74111311
	成人看護論Ⅱ(急性期・回復期)	2後	2		1		74111312
	成人看護過程展開論	2後	1		1	8回授業	74111313
	成人看護学演習Ⅰ(慢性期・終末期)	3前	1		2		74111321
	成人看護学演習Ⅱ(急性期・回復期)	3前	1		2		74111322
	成人看護学実習Ⅰ(慢性期・終末期実習)	3後	2		集中	学外実習	74111331
	成人看護学実習Ⅱ(急性期・回復期実習)	3後	3		集中	学外実習	74111332
	老年看護学概論	2後	1		1	8回授業	74111401
	認知症ケア	2後	1		1	8回授業	74111402
	老年看護論	3前	1		1	8回授業	74111411
	老年看護学演習	3前	1		2		74111421
	老年看護学実習Ⅰ(施設実習)	3後	2		集中	学外実習	74111431
	老年看護学実習Ⅱ(病院実習)	3後	3		集中	学外実習	74111432
	小児看護学概論	2後	1		1	8回授業	74111501
	小児看護学実践論	3前	2		1		74111511
	小児看護学演習	3後	1		2		74111521
	小児看護学実習	4前	2		集中	学外実習	74111531
	母性看護学概論	2後	1		1	8回授業	74111601
	母性看護学実践論	3前	2		1		74111611
	母性看護学演習	3後	1		2		74111621
	母性看護学実習	4前	2		集中	学外実習	74111631
	精神保健看護学概論	2後	1		1	8回授業	74111701
	精神保健看護学実践論	3前	2		1		74111711
	精神保健看護学実践演習	3後	1		2		74111721
	精神保健看護学実習	4前	2		集中	学外実習	74111731
	エンド・オブ・ライフケア実践論	3前		1	1	8回授業	74212131
	実践看護学実習Ⅰ(地域活動実習)	2後	1		集中	学外実習	74112141
	実践看護学実習Ⅱ(多職種連携実習)	4通	1		集中	学外実習	74112142
	看護教育論	4後		1	1	8回授業	74212122
	チーム医療論	2後	1		1	8回授業	74112111
	チーム医療演習	4前	1		1		74112112
	地域と看護	2後		1	1	8回授業	74212101
	災害看護論	2前	1		1	8回授業	74112102
	国際看護論	2前	1		1	8回授業	74112103
	看護学研究法	2後	2		1		74112121
	総合演習	4後	1		集中		74112154
	卒業研究ゼミⅠ(研究探究ゼミ)	3通	1		1		74112151
	卒業研究ゼミⅡ(研究実践ゼミ)	4通	1		1		74112152
	卒業論文	4通	3		集中		74112153
卒業要件		基礎・主題科目	21単位以上				
		専門基本科目	30単位以上				
		専門展開科目	76単位以上				
合 計			127単位以上				

6. 総合経済学科教育課程表

	科目名	配当年次	単位数			週授業回数	備考	ナンバリング
			必修	選択	自由			
基礎科目	スポーツ	1前	1			1		91140001
	スポーツ理論	1後		2		1		91240002
	英語 I	1前	1			1		91101011
	英語 II	1後	1			1		91101012
	英語 III	2前	1			1		91101013
	英語 IV	2後		1		1		91201014
	言葉と文化 (英語) I	2前		1		1		91201015
	言葉と文化 (英語) II	2後		1		1		91201016
	言葉と文化 (中国語) I	1前		1		1		91201021
	言葉と文化 (中国語) II	1後		1		1		91201022
	言葉と文化 (英語) III	3前		1		1		91201017
	言葉と文化 (英語) IV	3後		1		1		91201018
	言葉と文化 (中国語) III	2前		1		1		91201023
	言葉と文化 (中国語) IV	2後		1		1		91201024
	コンピュータ・リテラシー	1前	1			1		91160001
	学習方法演習 I	1前	1			1		91102001
	学習方法演習 II	1後	1			1		91102002
	基礎演習 I	2前	1			1		91102003
	基礎演習 II	2後	1			1		91102004
主題科目	ボランティア入門	1前	2			1		92103001
	ボランティア活動 I	1通		1		集中		92203002
	ボランティア活動 II	2通		1		集中		92203003
	美術	1後		2		1		92200001
	健康科学	1前		2		1		92240001
	生命科学	3後		2		1		92200002
	自然科学	2後		2		1		92230002
	基礎数学	1前		2		1		92200003
	環境学	2前	2			1		92130001
	人文地理	1後		2		1		92200004
	心理学 I	1前		2		1		92204001
	心理学 II	1後		2		1		92204002
	コミュニケーション演習	2後		1		1		92204003
	白山市の自然と文化	2後		2		1		92230003
	社会福祉概論	1前		2		1		92200005
	介護福祉論	3前		2		1		92200006
	哲学	1後		2		1		92200007
	東洋史	4後		2		1		92200008
	西洋史	4前		2		1		92200009
	政治学	2後		2		1		92200010
	法学 I	2前		2		1		92200011
	法学 II	2後		2		1		92200012
	日本文学	2前		2		1		92200013
	日本文化論	1後		2		1		92200014
専門基礎科目	総合経済学入門	1前	2			1		93110001
	ミクロ経済学 I (完全競争市場)	1後	2			1		93110004

科目名	配当年次	単位数			週授業回数	備考	ナンバリング
		必修	選択	自由			
専門基本科目	ミクロ経済学Ⅱ（不完全競争市場）	2前	2		1	8回授業	93110006
	マクロ経済学Ⅰ（ケインズ経済学と経済政策）	1後	2		1		93110005
	マクロ経済学Ⅱ（開放経済体系と長期モデル）	2前	2		1		93110007
	経済数学	1後	2		1		93210003
	北陸の経済産業史	1後	2		1		93220003
	持続可能な開発とSDGs論	1後	1		1		93110002
	金融論	2前	2		1		93220004
	情報政策論	2後	2		1		93210008
	経営学概論	1前	2		1		93120001
	簿記会計	1前	2		1		93220002
	社会学概論	1前	2		1		93150001
	社会調査法	1後	2		1		93150002
	社会調査演習	2前	1		1		93250003
	メディア論	2前	2		1		93250004
	ジェンダー論	2後	2		1		93250005
	国際社会学	2後	2		1		93250006
	統計学	1前	2		1		93160001
	データサイエンスⅠ（データサイエンスの基礎）	1後	2		1		93160002
	データサイエンスⅡ（経済・経営のためのビッグデータの分析）	2前	2		1		93160004
	IoTとデジタルマーケティング	1後	2		1		93260003
専門展開科目 経済学系科目	ビジネスデザイン演習	2前	1		1	経済学系科目から選択科目 2単位以上	93260005
	ICTと情報セキュリティ	2後	2		1		93260006
	Webプログラミング	2後	1		1		93260007
	デジタルパフォーミング演習	2後	1		1		93260008
	データ表現演習	3前	1		1		93260009
	AI戦略論	3後	2		1		93260010
	ITパスポートⅠ（ストラテジ系）	3前		2	1		93360001
	ITパスポートⅡ（テクノロジ系）	3後		2	1		93360002
	経済統計学	2前	2		1		94210001
	地域経済論	2前	2		1		94110004
	産業組織論	2前	2		1		94210003
	地域共創論	2前	2		1		94210005
	財政学	2前	2		1		94210002
	経済情報論	2後	2		1		94210007
	国際経済論	2後	2		1		94210009
	地方財政学	2後	2		1		94210008
	計量経済学	3前	2		1		94210010
	公共経済論	3前	2		1		94210015
	経済開発論	3前	2		1		94210014
	環境経済論	3前	2		1		94210016
	リーダーシップ論	3前	2		1		94210013
	経済政策論	3前	2		1		94210011
	労働経済論	3前	2		1		94210012
	商法・会社法	2前	2		1		94110006
	民法	3前	2		1		94210018
	行政学	3前	2		1		94210019
	政治社会学	3後	2		1		94210021

	科目名	配当年次	単位数			週授業 回数	備考	ナンバ リング
			必修	選択	自由			
専門展開科目	経済学系科目	社会保障論	3後	2		1	8回授業	94210020
		医療経済学	3前	1		1		94210017
		行政法	3後	2		1		94210022
	経営学系科目	マーケティング論	1後	2		1	経営学系科目から選択科目 2単位以上	94120001
		経営組織論	2前	2		1		94220005
		企業の社会的責任	2前	2		1		94220003
		消費者行動論	2前	2		1		94220006
		企業論	2後	2		1		94220008
		経営戦略論	2後	2		1		94220011
		経営管理論	2後	2		1		94220009
		中小企業経営論	2後	2		1		94220012
		ベンチャービジネス論	3前	2		1		94220013
		マーケティングリサーチ	3前	2		1		94220014
		IoTとロジスティクス	3後	1		1		94220015
		ファイナンシャル・マネジメント	4前	2		1		94220017
		ファイナンシャルプランニング基礎	1後	1		1		94220002
		ファイナンシャルプランニング実務演習	2前	1		1		94220007
		財務会計論	2前	2		1		94220004
		管理会計論	2後	2		1		94220010
		税務会計論	4前	2		1		94220016
	環境系科目	食と農の経済学	2前	2		1	環境系科目から選択科目 2単位以上	94230001
		環境マネジメント	2前	2		1		94230002
		環境政策論	2後			1		94130003
		エコライフ論	3前	2		1		94230006
		都市環境計画	3前	2		1		94230004
		廃棄物・再生資源論	3前	2		1		94230005
		自然再生論	3前	2		1		94230008
		生物多様性保全論	3前	2		1		94230007
		国際環境保全論	3後	2		1		94230010
		環境技術論	3後	1		1	8回授業	94230009
		企業と環境法	3後	1		1	8回授業	94230011
		地産地消とブランディング	3後	2		1		94230013
		生態系観察演習	3後	1		1		94230012
		環境測定演習	4前	1		1		94230015
		地域循環共生圏	4前	2		1		94230014
	健康系科目	健康と栄養	2前	2		1	健康系科目から選択科目 2単位以上	94240001
		スポーツビジネス論	2後	2		1		94240003
		健康デザイン論	2後	2		1		94240002
		健康経営概論	3前			1		94140006
		保健医療データマイニング	3前	2		1		94240005
		アンチエイジングとストリートダンス	3前	1		1		94240004
		公共交通政策と健康	3前	2		1		94240007
		スポーツとからだのしくみ	3後	2		1		94240009
		ヘルスプロモーション演習	3後	1		1		94240010
		こどもの健康と地域社会	3後	2		1		94240011
		ユニバーサルデザインと暮らし	3後	2		1		94240012
		eスポーツ論	3後	2		1		94240008
		健康とメンタルコンディショニング	4前	2		1		94240013
		ネイチャーアクティビティ	4前	1		1		94240014

		科目名	配当年次	単位数			週授業回数	備考	ナンバリング
				必修	選択	自由			
専門展開科目	地域活性科目	地域共創実践論	2後		2		1	地域活性科目から選択科目 4単位以上	94270001
		地域共創プロジェクト	3前		1		1		94270002
		地域社会と経済	3後		2		1		94270005
		地域づくり論Ⅰ（地域ブランド）	3後		2		1		94270006
		地域づくり論Ⅱ（コミュニティビジネス）	4前		2		1		94270008
		地域づくり論Ⅲ（情報と地域経営）	4後		2		1		94270010
		地域企業論Ⅰ（ビジネスイノベーション）	3後		2		1		94270007
		地域企業論Ⅱ（事業承継）	4前		2		1		94270009
		グリーンビジネス論	3後		2		1		94270004
		健康づくりと地域発展	3前		2		1		94270003
	連携企業PBL科目	連携企業PBL 演習Ⅰ（課題発見）	2前	1			1		94180001
		連携企業PBL 演習Ⅱ（課題解決へのプロセス）	2後	1			1		94180003
		連携企業PBL 演習Ⅲ（解決策の実践）	3前	1			1		94180005
		インターンシップⅠ	2前	1			集中		94180002
		インターンシップⅡ	2後	1			集中		94180004
		連携企業PBL 実習	3前		3		集中		94280006
	卒業研究科目	基礎ゼミⅠ	3前	1			1		94190001
		基礎ゼミⅡ	3後	1			1		94190002
		卒業研究ゼミⅠ	4前	1			1		94190003
		卒業研究ゼミⅡ	4後	1			1		94190004
		卒業論文	4通	4			集中		94190005
	留学生科目	日本語Ⅰ	1前		2		2		95201001
		日本語Ⅱ	1後		2		2		95201002
		日本語Ⅲ	2前		2		2		95201003
		言葉と文化（日本語）Ⅰ	2後		1		1		95201004
		言葉と文化（日本語）Ⅱ	3前		1		1		95201005
卒業要件		基礎・主題科目	30単位以上						
		専門基本科目	30単位以上						
		専門展開科目	60単位以上						
合計				124単位以上					
なお、専門展開科目のうち「経済学系科目」「経営学系科目」「環境系科目」「健康系科目」の選択科目からそれぞれ2単位以上、「地域活性科目」の選択科目から4単位以上を選択必修とする。 留学生は、留学生科目の単位を基礎科目の外国語系科目の単位に代えることができる。									

注) 自由科目は、卒業単位に含まれない。

7. 公衆衛生看護学専攻科教育課程表

公衆衛生看護学専攻科は、文部科学省より定員 10 人の保健師学校として指定されています。そのため、指定科目を履修して修了すれば、保健師国家試験受験資格が得られます。

	科目名	開講学期	単位数		週授業回数	備考	ナンバリング
			必修	選択			
専門基本科目	疫学	前	2		1		83111101
	保健統計学	前	2		1		83111202
	保健医療福祉行政論Ⅰ（基礎）	前	2		1		83111303
	保健医療福祉行政論Ⅱ（応用）	通	2		1		83111304
専門展開科目	公衆衛生看護学概論	前	2		1		84110105
	地域看護診断	前	2		1		84110207
	地域看護診断演習	通	2		1		84110208
	家族・対象別公衆衛生看護展開論	前	2		1		84110309
	家族・対象別公衆衛生看護展開論演習	通	2		1		84110310
	地域公衆衛生看護活動論	前	2		1		84110312
	地域公衆衛生看護活動論演習	通	2		1		84110313
	産業保健活動論	前	1		1	8回授業	84110314
	地域保健フィールド演習	通	2		1		84110315
	地域健康危機管理論	前	1		1	8回授業	84110216
	地域と看護	後		1	1	8回授業	84110206
	保健活動共創論	後		1	1	8回授業	84110211
	家族・対象別継続支援実習	通	2		集中		84112117
	地域・ヘルスプロモーション実習	通	3		集中		84112218
修了要件			専門基本科目	必修 8単位			
			専門展開科目	必修 23単位、選択 1単位以上			
合 計			32単位以上				

8. 金城大学大学院教育課程表

総合リハビリテーション学研究科総合リハビリテーション学専攻 教育課程表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態	
			必修	選択	自由	講義	演習
基礎科目	医療健康学特論	1 前		2		○	
	リハビリテーション医学特論	1 前		2		○	
	総合リハビリテーション学研究特論Ⅰ	1 前	2			○	
	総合リハビリテーション学研究特論Ⅱ	1 後・2 前	2			○	
	リハビリテーション統計学特論	1 前		2		○	
	教育学特論Ⅰ	1 前・1 後		2		○	
	教育学特論Ⅱ	1 後・2 前		2		○	
	地域リハビリテーション特論	1 後		2		○	

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態	
				必修	選択	自由	講義	演習
基礎科目		社会福祉特論	1 前		2		○	
		介護福祉特論	1 後		2		○	
		保育・幼児教育特論	1 後		2		○	
		看護特論	1 後		2		○	
		関連職種連携演習	1 前		2			○
専門科目	基礎 リハビリ テーシ ョン領 域	基礎リハビリテーション特論Ⅰ	1 前		2		○	
		基礎リハビリテーション演習Ⅰ	1 後		2			○
		基礎リハビリテーション特論Ⅱ	1 前		2		○	
		基礎リハビリテーション演習Ⅱ	1 後		2			○
		基礎リハビリテーション特別研究	1 前～2 後		10			○
	発達・心理・福祉・ 教育領 域	発達・心理・福祉・教育特論Ⅰ	1 前		2		○	
		発達・心理・福祉・教育演習Ⅰ	1 後		2			○
		発達・心理・福祉・教育特論Ⅱ	1 前		2		○	
		発達・心理・福祉・教育演習Ⅱ	1 後		2			○
		発達・心理・福祉・教育特論Ⅲ	1 前		2		○	
		発達・心理・福祉・教育演習Ⅲ	1 後		2			○
		発達・心理・福祉・教育特別研究	1 前～2 後		10			○
	実 践 的 リ ハ ビ リ テ ー シ ョン 領 域	実践的リハビリテーション特論Ⅰ	1 前		2		○	
		実践的リハビリテーション演習Ⅰ	1 後		2			○
		実践的リハビリテーション特論Ⅱ	1 前		2		○	
		実践的リハビリテーション演習Ⅱ	1 後		2			○
		実践的リハビリテーション特論Ⅲ	1 前		2			
		実践的リハビリテーション演習Ⅲ	1 後		2			
		実践的リハビリテーション特論Ⅳ	1 前		2		○	
		実践的リハビリテーション演習Ⅳ	1 後		2			○
		実践的リハビリテーション特論Ⅴ	1 前		2		○	
		実践的リハビリテーション演習Ⅴ	1 後		2			○
		実践的リハビリテーション特論Ⅵ	1 前		2		○	
		実践的リハビリテーション演習Ⅵ	1 後		2			○
		実践的リハビリテーション特別研究	1 前～2 後		10			○
【修了要件】30 単位		基礎科目	必修 4 単位	} 選択 26 単位				
		専門科目						
計		30 単位						

注 1) 研究指導教員が指定する専門科目の特論、演習、特別研究を含む 30 単位以上を修得し、別に定める論文審査 (最終試験) に合格すること。

注 2) 大学教員を志望する場合は、大学教員になるために必要な「教育学に関する科目 4 単位」に該当する科目「教育学特論Ⅰ (2 単位)」及び「教育学特論Ⅱ (2 単位)」を修得すること。

長期履修生制度

金城大学大学院は社会人学生等を対象として、計画的な長期在学・履修により就学の便宜と授業料の軽減を図るため、長期履修生制度を設けています。長期履修の期間は、3 年または 4 年とし、入学時点に決定するものです。

主 題 科 目
專 門 基 本 科 目
專 門 展 開 科 目
留 學 生 科 目

- (2) 保育・幼児教育及び福祉領域に関する基本的知識を修得し、専門的知識・技能を身につける。
- (3) 子どもや子どもを取り巻く環境の諸課題を発見・理解し、課題解決に向けて、適切な方法・手段を用いて対応する。
- (4) 子ども・家庭や子どもに関連する地域の諸機関と良好なコミュニケーションをとり、専門的知識・技能を社会に貢献させる。

基礎科目
主題科目
専門基本科目
専門展開科目
留学生科目

- (2) 保育・幼児教育及び福祉領域に関する基本的知識を修得し、専門的知識・技能を身につけている。
- (3) 子どもを取り巻く環境の諸課題を発見・理解し、課題解決に向けて、適切な方法で研究・実践している。
- (4) 子ども・家庭や子どもに関連する地域の諸機関と良好なコミュニケーションをとり、専門分野で役割を果たしている。

2025年度履修系統図・カリキュラムマップ(理学療法学科)

	(1)年	主題科目	専門基本科目	(2)年	専門展開科目	(3)年	(4)年
指定科目の教育内容	I レクリエーション活動Ⅰ(1) 英語Ⅰ(1) 英語Ⅱ(1) 情報処理演習(1) 基礎演習Ⅰ(1)(4) ポランティア入門(1) ポランティア活動Ⅰ(1) 健康科学(1) 自然科学Ⅰ(生物系)(1) 自然科学Ⅳ(化学系)(1) 自然科学概論(1) 高齢者福祉論(1) 心理学Ⅰ(2)	II スポーツ(1) レクリエーション活動Ⅱ(1) 英語Ⅲ(1) 英語Ⅳ(1) 基礎演習Ⅱ(1)(4) 生命と医療の倫理(1) 自然科学Ⅱ(物理系)(1) 自然科学Ⅴ(化学系)(1) データサイエンス(1) 障害者福祉論(1) 心理学Ⅱ(2)	III スポーツ理論(1) 言葉と文化(英語)Ⅰ(1) 言葉と文化(中国語)Ⅰ(1) ポランティア活動Ⅱ(1) 法学(憲法)Ⅰ(1) 日本文学Ⅰ(1) 日本史Ⅰ(1) 日本史Ⅱ(1) 美術(1)	IV 言葉と文化(英語)Ⅱ(1) 言葉と文化(中国語)Ⅱ(1) 社会学(1) 法学Ⅱ(1) 日本文学Ⅱ(1)	V 医学英語(1) 統計学(1) 介護福祉論Ⅰ(1) 人文学Ⅰ(1) ソーシャルワーク論Ⅰ(1) 医療関係論Ⅰ(1) 東洋史(1)	VI 介護福祉論Ⅱ(1) ソーシャルワーク論Ⅱ(1)	VII 高年齢者の心理(2)(4) 障害者の心理(2)(4)
科学的思考の基盤・人間の生活							
人体の構造と機能及び心身の発達							
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進							
保健医療福祉とリハビリテーションの理念							
基礎理学療法学							
理学療法評価学							
理学療法治療学							
地域理学療法学							
理学療法管理学							
臨床実習							
その他の科目							

DP1
豊かな人間性と医療
倫理観を支える幅広
い教養を身につけて
いる。

DP2
理学療法士として、
科学的根拠に基づい
た知識・技能と態度
を身につけている。

DP3
保健・医療ならびに
地域での課題を発
見・理解し、解決に
向けて論理的思考力
を持って主体的に取
組むことができる。

DP4
対象者、その家族に
寄添い、理学療法の
実践に必要なコミュ
ニケーション能力を
身につけている。

DP5
医療チームの一員として、協働性とマネジメント能力を身につけている。

2025年度履修系統図・カリキュラムマップ(作業療法学科)

指定科目の教育内容	基礎科目		主題科目	専門基本科目	(2) 年	専門展開科目		(3) 年	(4) 年	
	I	(1) 年	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	
科学的思考の基盤・ 人間の生活	レクリエーション活動Ⅰ(Ⅰ) 英語Ⅰ(Ⅰ) 英語Ⅱ(Ⅰ) 情報処理演習(Ⅰ) 基礎演習Ⅰ(Ⅰ)(4) ボランティア入門(Ⅰ) ボランティア活動Ⅰ(Ⅰ) 健康科学(Ⅰ) 自然科学Ⅰ(生物系)(Ⅰ) 自然科学Ⅱ(物理系)(Ⅰ) 自然科学Ⅲ(化学系)(Ⅰ) 自然科学Ⅳ(数学系)(Ⅰ) データサイエンス(Ⅰ) 高齢者福祉論(Ⅰ) 心理学Ⅰ(2)	スポーツ((Ⅰ)) レクリエーション活動Ⅱ(Ⅰ) 英語Ⅲ(Ⅰ) 英語Ⅳ(Ⅰ) 基礎演習Ⅱ(Ⅰ)(4) ボランティア活動Ⅱ(Ⅰ) 生命と医療の倫理(Ⅰ) 自然科学Ⅱ(物理系)(Ⅰ) 自然科学Ⅲ(化学系)(Ⅰ) 自然科学Ⅳ(数学系)(Ⅰ) データサイエンス(Ⅰ) 障害者福祉論(Ⅰ) 心理学Ⅱ(2) 日本史Ⅰ(Ⅰ) 日本史Ⅱ(Ⅰ) 美術(Ⅰ)	スポーツ理論(Ⅰ) 言葉と文化(英語)Ⅰ(Ⅰ) 言葉と文化(中国語)Ⅰ(Ⅰ) 言葉と文化(英語)Ⅱ(Ⅰ) 言葉と文化(中国語)Ⅱ(Ⅰ) 社会学(Ⅰ) 法学(憲法)Ⅰ(Ⅰ) 日本文学Ⅰ(Ⅰ) 社会学Ⅱ(Ⅰ) 法学Ⅱ(Ⅰ) 日本文学Ⅱ(Ⅰ)	介護福祉論Ⅰ(Ⅰ) ソーシャルワーク論Ⅰ(Ⅰ) 人文地理(Ⅰ) 医療関係法(Ⅰ) 東洋史(Ⅰ)	介護福祉論Ⅱ(Ⅰ) ソーシャルワーク論Ⅱ(Ⅰ)	医学英語(Ⅰ) 統計学(Ⅰ)				
	解剖学Ⅰ(2) 解剖学Ⅱ(2) 解剖学実習(2) 生理学Ⅰ(2) 生理学実習(2)	解剖学Ⅲ(2) 生理学Ⅱ(2)	臨床心理学Ⅰ(2) 精神医学(2) 内科学Ⅰ(2) 整形外科Ⅰ(2) 神経内科学Ⅰ(2) 小児科学(2) 老年学(2)	臨床心理学Ⅱ(2) 運動学Ⅰ(2) 運動学実習(2)(3) 臨床心理学(2) 病理学(2) 内科学Ⅱ(2) 整形外科Ⅱ(2) 神経内科学Ⅱ(2)	カウンセリング演習(4) 栄養学・薬理学(2)	高齢者の心理(2)(4) 障害者の心理(2)(4)				
	公衆衛生学(2)	医学概論(2) 安全管理(Ⅰ)(2) 感染防御(Ⅰ)(2)	リハビリテーション医学(2) 社会福祉概論Ⅰ(Ⅰ) 作業療法学概論(2)	基礎作業療法学(2) 検査・測定論Ⅰ(2) 検査・測定実習Ⅰ(2)(4) 作業療法治療学Ⅰ(身体)(2) 作業療法治療学Ⅱ(整形外科)(2)(3) 作業療法治療学Ⅲ(精神)(2) 作業療法治療学Ⅳ(身体)(2) 作業療法治療学実習Ⅰ(身体)(2) 日常生活活動学(2)(3) 日常生活活動実習(2)(3) スポーツ・リハビリテーション(2) 生活環境学(2)(3) 地域作業療法学(2)(3) 地域福祉論(2)(5)	作業療法研究法(2)(3) 作業科学と運動・動作分析(2) 作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学Ⅴ(内臓疾患)(2)(3) 作業療法治療学Ⅵ(老年期)(2) 作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能)(2) 作業療法治療学Ⅷ(発達)(2) 作業療法治療学実習Ⅱ(中枢)(2) 作業学(2) 義肢装具学実習(2)	地域・リハビリテーション学(2)(3) 作業療法治療学Ⅱ(2)(3) 作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学Ⅴ(内臓疾患)(2)(3) 作業療法治療学Ⅵ(老年期)(2) 作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能)(2) 作業療法治療学Ⅷ(発達)(2) 作業療法治療学実習Ⅲ(精神)(2) 義肢装具学実習(2) 生活環境学(2)(3) 地域作業療法学(2)(3) 地域福祉論(2)(5)	作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学実習Ⅱ(中枢)(2) 作業学(2) 義肢装具学実習(2)			
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論(2) 社会福祉概論Ⅰ(Ⅰ) 作業療法学概論(2)	リハビリテーション医学(2) 社会福祉概論Ⅱ(Ⅰ) 作業療法学概論(2)	基礎作業療法学(2) 検査・測定論Ⅰ(2) 検査・測定実習Ⅰ(2)(4) 作業療法治療学Ⅰ(身体)(2) 作業療法治療学Ⅱ(整形外科)(2)(3) 作業療法治療学Ⅲ(精神)(2) 作業療法治療学Ⅳ(身体)(2) 作業療法治療学実習Ⅰ(身体)(2) 日常生活活動学(2)(3) 日常生活活動実習(2)(3) スポーツ・リハビリテーション(2) 生活環境学(2)(3) 地域作業療法学(2)(3) 地域福祉論(2)(5)	作業療法研究法(2)(3) 作業科学と運動・動作分析(2) 作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学Ⅴ(内臓疾患)(2)(3) 作業療法治療学Ⅵ(老年期)(2) 作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能)(2) 作業療法治療学Ⅷ(発達)(2) 作業療法治療学実習Ⅱ(中枢)(2) 作業学(2) 義肢装具学実習(2)	作業療法研究法(2)(3) 作業科学と運動・動作分析(2) 作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学Ⅴ(内臓疾患)(2)(3) 作業療法治療学Ⅵ(老年期)(2) 作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能)(2) 作業療法治療学Ⅷ(発達)(2) 作業療法治療学実習Ⅲ(精神)(2) 義肢装具学実習(2) 生活環境学(2)(3) 地域作業療法学(2)(3) 地域福祉論(2)(5)	作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学実習Ⅱ(中枢)(2) 作業学(2) 義肢装具学実習(2)			
基礎作業療法学	リハビリテーション概論(2) 社会福祉概論Ⅰ(Ⅰ) 作業療法学概論(2)	リハビリテーション医学(2) 社会福祉概論Ⅱ(Ⅰ) 作業療法学概論(2)	基礎作業療法学(2) 検査・測定論Ⅰ(2) 検査・測定実習Ⅰ(2)(4) 作業療法治療学Ⅰ(身体)(2) 作業療法治療学Ⅱ(整形外科)(2)(3) 作業療法治療学Ⅲ(精神)(2) 作業療法治療学Ⅳ(身体)(2) 作業療法治療学実習Ⅰ(身体)(2) 日常生活活動学(2)(3) 日常生活活動実習(2)(3) スポーツ・リハビリテーション(2) 生活環境学(2)(3) 地域作業療法学(2)(3) 地域福祉論(2)(5)	作業療法研究法(2)(3) 作業科学と運動・動作分析(2) 作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学Ⅴ(内臓疾患)(2)(3) 作業療法治療学Ⅵ(老年期)(2) 作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能)(2) 作業療法治療学Ⅷ(発達)(2) 作業療法治療学実習Ⅱ(中枢)(2) 作業学(2) 義肢装具学実習(2)	作業療法研究法(2)(3) 作業科学と運動・動作分析(2) 作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学Ⅴ(内臓疾患)(2)(3) 作業療法治療学Ⅵ(老年期)(2) 作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能)(2) 作業療法治療学Ⅷ(発達)(2) 作業療法治療学実習Ⅲ(精神)(2) 義肢装具学実習(2) 生活環境学(2)(3) 地域作業療法学(2)(3) 地域福祉論(2)(5)	作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学実習Ⅱ(中枢)(2) 作業学(2) 義肢装具学実習(2)				
作業療法管理学	リハビリテーション概論(2) 社会福祉概論Ⅰ(Ⅰ) 作業療法学概論(2)	リハビリテーション医学(2) 社会福祉概論Ⅱ(Ⅰ) 作業療法学概論(2)	基礎作業療法学(2) 検査・測定論Ⅰ(2) 検査・測定実習Ⅰ(2)(4) 作業療法治療学Ⅰ(身体)(2) 作業療法治療学Ⅱ(整形外科)(2)(3) 作業療法治療学Ⅲ(精神)(2) 作業療法治療学Ⅳ(身体)(2) 作業療法治療学実習Ⅰ(身体)(2) 日常生活活動学(2)(3) 日常生活活動実習(2)(3) スポーツ・リハビリテーション(2) 生活環境学(2)(3) 地域作業療法学(2)(3) 地域福祉論(2)(5)	作業療法研究法(2)(3) 作業科学と運動・動作分析(2) 作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学Ⅴ(内臓疾患)(2)(3) 作業療法治療学Ⅵ(老年期)(2) 作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能)(2) 作業療法治療学Ⅷ(発達)(2) 作業療法治療学実習Ⅱ(中枢)(2) 作業学(2) 義肢装具学実習(2)	作業療法研究法(2)(3) 作業科学と運動・動作分析(2) 作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学Ⅴ(内臓疾患)(2)(3) 作業療法治療学Ⅵ(老年期)(2) 作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能)(2) 作業療法治療学Ⅷ(発達)(2) 作業療法治療学実習Ⅲ(精神)(2) 義肢装具学実習(2) 生活環境学(2)(3) 地域作業療法学(2)(3) 地域福祉論(2)(5)	作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学実習Ⅱ(中枢)(2) 作業学(2) 義肢装具学実習(2)				
作業療法評価学	リハビリテーション概論(2) 社会福祉概論Ⅰ(Ⅰ) 作業療法学概論(2)	リハビリテーション医学(2) 社会福祉概論Ⅱ(Ⅰ) 作業療法学概論(2)	基礎作業療法学(2) 検査・測定論Ⅰ(2) 検査・測定実習Ⅰ(2)(4) 作業療法治療学Ⅰ(身体)(2) 作業療法治療学Ⅱ(整形外科)(2)(3) 作業療法治療学Ⅲ(精神)(2) 作業療法治療学Ⅳ(身体)(2) 作業療法治療学実習Ⅰ(身体)(2) 日常生活活動学(2)(3) 日常生活活動実習(2)(3) スポーツ・リハビリテーション(2) 生活環境学(2)(3) 地域作業療法学(2)(3) 地域福祉論(2)(5)	作業療法研究法(2)(3) 作業科学と運動・動作分析(2) 作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学Ⅴ(内臓疾患)(2)(3) 作業療法治療学Ⅵ(老年期)(2) 作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能)(2) 作業療法治療学Ⅷ(発達)(2) 作業療法治療学実習Ⅱ(中枢)(2) 作業学(2) 義肢装具学実習(2)	作業療法研究法(2)(3) 作業科学と運動・動作分析(2) 作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学Ⅴ(内臓疾患)(2)(3) 作業療法治療学Ⅵ(老年期)(2) 作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能)(2) 作業療法治療学Ⅷ(発達)(2) 作業療法治療学実習Ⅲ(精神)(2) 義肢装具学実習(2) 生活環境学(2)(3) 地域作業療法学(2)(3) 地域福祉論(2)(5)	作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学実習Ⅱ(中枢)(2) 作業学(2) 義肢装具学実習(2)				
作業療法治療学	リハビリテーション概論(2) 社会福祉概論Ⅰ(Ⅰ) 作業療法学概論(2)	リハビリテーション医学(2) 社会福祉概論Ⅱ(Ⅰ) 作業療法学概論(2)	基礎作業療法学(2) 検査・測定論Ⅰ(2) 検査・測定実習Ⅰ(2)(4) 作業療法治療学Ⅰ(身体)(2) 作業療法治療学Ⅱ(整形外科)(2)(3) 作業療法治療学Ⅲ(精神)(2) 作業療法治療学Ⅳ(身体)(2) 作業療法治療学実習Ⅰ(身体)(2) 日常生活活動学(2)(3) 日常生活活動実習(2)(3) スポーツ・リハビリテーション(2) 生活環境学(2)(3) 地域作業療法学(2)(3) 地域福祉論(2)(5)	作業療法研究法(2)(3) 作業科学と運動・動作分析(2) 作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学Ⅴ(内臓疾患)(2)(3) 作業療法治療学Ⅵ(老年期)(2) 作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能)(2) 作業療法治療学Ⅷ(発達)(2) 作業療法治療学実習Ⅱ(中枢)(2) 作業学(2) 義肢装具学実習(2)	作業療法研究法(2)(3) 作業科学と運動・動作分析(2) 作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学Ⅴ(内臓疾患)(2)(3) 作業療法治療学Ⅵ(老年期)(2) 作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能)(2) 作業療法治療学Ⅷ(発達)(2) 作業療法治療学実習Ⅲ(精神)(2) 義肢装具学実習(2) 生活環境学(2)(3) 地域作業療法学(2)(3) 地域福祉論(2)(5)	作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学実習Ⅱ(中枢)(2) 作業学(2) 義肢装具学実習(2)				
地域作業療法学	リハビリテーション概論(2) 社会福祉概論Ⅰ(Ⅰ) 作業療法学概論(2)	リハビリテーション医学(2) 社会福祉概論Ⅱ(Ⅰ) 作業療法学概論(2)	基礎作業療法学(2) 検査・測定論Ⅰ(2) 検査・測定実習Ⅰ(2)(4) 作業療法治療学Ⅰ(身体)(2) 作業療法治療学Ⅱ(整形外科)(2)(3) 作業療法治療学Ⅲ(精神)(2) 作業療法治療学Ⅳ(身体)(2) 作業療法治療学実習Ⅰ(身体)(2) 日常生活活動学(2)(3) 日常生活活動実習(2)(3) スポーツ・リハビリテーション(2) 生活環境学(2)(3) 地域作業療法学(2)(3) 地域福祉論(2)(5)	作業療法研究法(2)(3) 作業科学と運動・動作分析(2) 作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学Ⅴ(内臓疾患)(2)(3) 作業療法治療学Ⅵ(老年期)(2) 作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能)(2) 作業療法治療学Ⅷ(発達)(2) 作業療法治療学実習Ⅱ(中枢)(2) 作業学(2) 義肢装具学実習(2)	作業療法研究法(2)(3) 作業科学と運動・動作分析(2) 作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学Ⅴ(内臓疾患)(2)(3) 作業療法治療学Ⅵ(老年期)(2) 作業療法治療学Ⅶ(高次脳機能)(2) 作業療法治療学Ⅷ(発達)(2) 作業療法治療学実習Ⅲ(精神)(2) 義肢装具学実習(2) 生活環境学(2)(3) 地域作業療法学(2)(3) 地域福祉論(2)(5)	作業療法管理学(3)(5) 作業療法治療学実習Ⅱ(中枢)(2) 作業学(2) 義肢装具学実習(2)				
臨床実習	臨床実習Ⅰ(Ⅰ) 臨床実習Ⅱ(Ⅰ) 臨床実習Ⅲ(Ⅰ) 臨床実習Ⅳ(Ⅰ) 臨床実習Ⅴ(Ⅰ) 臨床実習Ⅵ(Ⅰ) 臨床実習Ⅶ(Ⅰ) 臨床実習Ⅷ(Ⅰ									

- DP1
豊かな人間性と医療倫理観を支える幅広い教養を身につけている。
- DP2
作業療法士として、科学的根拠に基づいた知識・技能と態度を身につけている。
- DP3
保健・医療ならびに地域での課題を発見・理解し、解決に向けて論理的思考力を持って主体的に取り組むことができる。
- DP4
対象者、その家族に寄り添い、作業療法の実践に必要なコミュニケーション能力を身につけている。
- DP5
医療チームの一員として、協働性とマネジメント能力を身につけている。

2025年度履修系統図・カリキュラム・マップ(看護学科)

基礎科目	1年	2年	3年	4年
指定科目の 教育内容	Ⅰ レクリエーション活動Ⅰ【1】 英語Ⅰ【1】 英語Ⅱ【1】 基礎演習Ⅰ【1】 スポーツ【1】	Ⅲ スポーツ理論【1】 言葉と文化（英語）Ⅰ【1】 言葉と文化（中国語）Ⅰ【1】	Ⅴ 言葉と文化（英語）Ⅱ【1】 言葉と文化（中国語）Ⅱ【1】	Ⅶ 言葉と文化（英語）Ⅲ【1】 言葉と文化（中国語）Ⅲ【1】
基礎科目	Ⅰ レクリエーション活動Ⅰ【1】 英語Ⅰ【1】 英語Ⅱ【1】 基礎演習Ⅰ【1】 スポーツ【1】	Ⅲ スポーツ理論【1】 言葉と文化（英語）Ⅰ【1】 言葉と文化（中国語）Ⅰ【1】	Ⅴ 言葉と文化（英語）Ⅱ【1】 言葉と文化（中国語）Ⅱ【1】	Ⅶ 言葉と文化（英語）Ⅲ【1】 言葉と文化（中国語）Ⅲ【1】
主観科目	Ⅱ レクリエーション活動Ⅱ【1】 英語Ⅲ【1】 英語Ⅳ【1】 基礎演習Ⅱ【1】 スポーツ【1】	Ⅳ 言葉と文化（英語）Ⅱ【1】 言葉と文化（中国語）Ⅱ【1】	Ⅵ 言葉と文化（英語）Ⅲ【1】 言葉と文化（中国語）Ⅲ【1】	Ⅷ 言葉と文化（英語）Ⅳ【1】 言葉と文化（中国語）Ⅳ【1】
専門基本科目	Ⅰ レクリエーション活動Ⅰ【1】 英語Ⅰ【1】 英語Ⅱ【1】 基礎演習Ⅰ【1】 スポーツ【1】	Ⅲ スポーツ理論【1】 言葉と文化（英語）Ⅰ【1】 言葉と文化（中国語）Ⅰ【1】	Ⅴ 言葉と文化（英語）Ⅱ【1】 言葉と文化（中国語）Ⅱ【1】	Ⅶ 言葉と文化（英語）Ⅲ【1】 言葉と文化（中国語）Ⅲ【1】
専門展開科目	Ⅱ レクリエーション活動Ⅱ【1】 英語Ⅲ【1】 英語Ⅳ【1】 基礎演習Ⅱ【1】 スポーツ【1】	Ⅳ 言葉と文化（英語）Ⅱ【1】 言葉と文化（中国語）Ⅱ【1】	Ⅵ 言葉と文化（英語）Ⅲ【1】 言葉と文化（中国語）Ⅲ【1】	Ⅷ 言葉と文化（英語）Ⅳ【1】 言葉と文化（中国語）Ⅳ【1】

【基礎科目】

CP1
実践を目指すスキルを育成し、プロフェッショナルスキルを育成し、高等学校での基礎を考慮した科目を初年次に設置する。

CP2
現代社会における諸活動に必要な高い基礎的事項の修得を目的とし、基礎科目群を設置する。

CP3
科学的思考の基礎や人間と生活、地域社会の理解、情報リテラシーについて学ぶための主観科目群を設置する。

CP4
専門展開科目を学ぶ基礎となる医学科目や周辺領域科目として専門基本科目群を設置する。

CP5
教育と専門知識を総合した、多面的かつ領域横断的な観点から多様な課題を解決し、実践する力を身につけ、多職種の連携・協働における看護専門職の役割を果たすことができるよう、演習科目やゼミナール科目を設置する。

CP6
看護と専門知識を総合した、多面的かつ領域横断的な観点から多様な課題を解決し、実践する力を身につけ、多職種の連携・協働における看護専門職の役割を果たすことができるよう、演習科目やゼミナール科目を設置する。

CP7
看護専門職としての実践に加え、新たな学修課題や研究課題を履修する能力を身につけるために、事前事後指導を含む現場での臨床実習科目を設置する。

実施方法
①教育科目と、看護の基礎から応用へと段階的・発展的に学修できるように、前期年次を工夫する。
②各演習科目やゼミナール科目などは少人数編成で実施する。
③課題解決型学習（Problem-based learning：PBL）の手法を取り入れた講義・演習を行い、学生相互の学修効果を得るよう展開する。
④各科目の授業時間や到達目標、演習内容等を予め明示することにより、学生の事前事後の学修を促し、学修内容の定着をはかる。
⑤臨床実習は3段階に区分し、第1段階では看護の基礎となる実習を、第2段階では看護の実践を模実習を、第3段階では看護の発展的な実習を、第4段階では看護の発展的な実習を、第5段階では看護の発展的な実習を、第6段階では看護の発展的な実習を、第7段階では看護の発展的な実習を、第8段階では看護の発展的な実習を、第9段階では看護の発展的な実習を、第10段階では看護の発展的な実習を、第11段階では看護の発展的な実習を、第12段階では看護の発展的な実習を、第13段階では看護の発展的な実習を、第14段階では看護の発展的な実習を、第15段階では看護の発展的な実習を、第16段階では看護の発展的な実習を、第17段階では看護の発展的な実習を、第18段階では看護の発展的な実習を、第19段階では看護の発展的な実習を、第20段階では看護の発展的な実習を、第21段階では看護の発展的な実習を、第22段階では看護の発展的な実習を、第23段階では看護の発展的な実習を、第24段階では看護の発展的な実習を、第25段階では看護の発展的な実習を、第26段階では看護の発展的な実習を、第27段階では看護の発展的な実習を、第28段階では看護の発展的な実習を、第29段階では看護の発展的な実習を、第30段階では看護の発展的な実習を、第31段階では看護の発展的な実習を、第32段階では看護の発展的な実習を、第33段階では看護の発展的な実習を、第34段階では看護の発展的な実習を、第35段階では看護の発展的な実習を、第36段階では看護の発展的な実習を、第37段階では看護の発展的な実習を、第38段階では看護の発展的な実習を、第39段階では看護の発展的な実習を、第40段階では看護の発展的な実習を、第41段階では看護の発展的な実習を、第42段階では看護の発展的な実習を、第43段階では看護の発展的な実習を、第44段階では看護の発展的な実習を、第45段階では看護の発展的な実習を、第46段階では看護の発展的な実習を、第47段階では看護の発展的な実習を、第48段階では看護の発展的な実習を、第49段階では看護の発展的な実習を、第50段階では看護の発展的な実習を、第51段階では看護の発展的な実習を、第52段階では看護の発展的な実習を、第53段階では看護の発展的な実習を、第54段階では看護の発展的な実習を、第55段階では看護の発展的な実習を、第56段階では看護の発展的な実習を、第57段階では看護の発展的な実習を、第58段階では看護の発展的な実習を、第59段階では看護の発展的な実習を、第60段階では看護の発展的な実習を、第61段階では看護の発展的な実習を、第62段階では看護の発展的な実習を、第63段階では看護の発展的な実習を、第64段階では看護の発展的な実習を、第65段階では看護の発展的な実習を、第66段階では看護の発展的な実習を、第67段階では看護の発展的な実習を、第68段階では看護の発展的な実習を、第69段階では看護の発展的な実習を、第70段階では看護の発展的な実習を、第71段階では看護の発展的な実習を、第72段階では看護の発展的な実習を、第73段階では看護の発展的な実習を、第74段階では看護の発展的な実習を、第75段階では看護の発展的な実習を、第76段階では看護の発展的な実習を、第77段階では看護の発展的な実習を、第78段階では看護の発展的な実習を、第79段階では看護の発展的な実習を、第80段階では看護の発展的な実習を、第81段階では看護の発展的な実習を、第82段階では看護の発展的な実習を、第83段階では看護の発展的な実習を、第84段階では看護の発展的な実習を、第85段階では看護の発展的な実習を、第86段階では看護の発展的な実習を、第87段階では看護の発展的な実習を、第88段階では看護の発展的な実習を、第89段階では看護の発展的な実習を、第90段階では看護の発展的な実習を、第91段階では看護の発展的な実習を、第92段階では看護の発展的な実習を、第93段階では看護の発展的な実習を、第94段階では看護の発展的な実習を、第95段階では看護の発展的な実習を、第96段階では看護の発展的な実習を、第97段階では看護の発展的な実習を、第98段階では看護の発展的な実習を、第99段階では看護の発展的な実習を、第100段階では看護の発展的な実習を、第101段階では看護の発展的な実習を、第102段階では看護の発展的な実習を、第103段階では看護の発展的な実習を、第104段階では看護の発展的な実習を、第105段階では看護の発展的な実習を、第106段階では看護の発展的な実習を、第107段階では看護の発展的な実習を、第108段階では看護の発展的な実習を、第109段階では看護の発展的な実習を、第110段階では看護の発展的な実習を、第111段階では看護の発展的な実習を、第112段階では看護の発展的な実習を、第113段階では看護の発展的な実習を、第114段階では看護の発展的な実習を、第115段階では看護の発展的な実習を、第116段階では看護の発展的な実習を、第117段階では看護の発展的な実習を、第118段階では看護の発展的な実習を、第119段階では看護の発展的な実習を、第120段階では看護の発展的な実習を、第121段階では看護の発展的な実習を、第122段階では看護の発展的な実習を、第123段階では看護の発展的な実習を、第124段階では看護の発展的な実習を、第125段階では看護の発展的な実習を、第126段階では看護の発展的な実習を、第127段階では看護の発展的な実習を、第128段階では看護の発展的な実習を、第129段階では看護の発展的な実習を、第130段階では看護の発展的な実習を、第131段階では看護の発展的な実習を、第132段階では看護の発展的な実習を、第133段階では看護の発展的な実習を、第134段階では看護の発展的な実習を、第135段階では看護の発展的な実習を、第136段階では看護の発展的な実習を、第137段階では看護の発展的な実習を、第138段階では看護の発展的な実習を、第139段階では看護の発展的な実習を、第140段階では看護の発展的な実習を、第141段階では看護の発展的な実習を、第142段階では看護の発展的な実習を、第143段階では看護の発展的な実習を、第144段階では看護の発展的な実習を、第145段階では看護の発展的な実習を、第146段階では看護の発展的な実習を、第147段階では看護の発展的な実習を、第148段階では看護の発展的な実習を、第149段階では看護の発展的な実習を、第150段階では看護の発展的な実習を、第151段階では看護の発展的な実習を、第152段階では看護の発展的な実習を、第153段階では看護の発展的な実習を、第154段階では看護の発展的な実習を、第155段階では看護の発展的な実習を、第156段階では看護の発展的な実習を、第157段階では看護の発展的な実習を、第158段階では看護の発展的な実習を、第159段階では看護の発展的な実習を、第160段階では看護の発展的な実習を、第161段階では看護の発展的な実習を、第162段階では看護の発展的な実習を、第163段階では看護の発展的な実習を、第164段階では看護の発展的な実習を、第165段階では看護の発展的な実習を、第166段階では看護の発展的な実習を、第167段階では看護の発展的な実習を、第168段階では看護の発展的な実習を、第169段階では看護の発展的な実習を、第170段階では看護の発展的な実習を、第171段階では看護の発展的な実習を、第172段階では看護の発展的な実習を、第173段階では看護の発展的な実習を、第174段階では看護の発展的な実習を、第175段階では看護の発展的な実習を、第176段階では看護の発展的な実習を、第177段階では看護の発展的な実習を、第178段階では看護の発展的な実習を、第179段階では看護の発展的な実習を、第180段階では看護の発展的な実習を、第181段階では看護の発展的な実習を、第182段階では看護の発展的な実習を、第183段階では看護の発展的な実習を、第184段階では看護の発展的な実習を、第185段階では看護の発展的な実習を、第186段階では看護の発展的な実習を、第187段階では看護の発展的な実習を、第188段階では看護の発展的な実習を、第189段階では看護の発展的な実習を、第190段階では看護の発展的な実習を、第191段階では看護の発展的な実習を、第192段階では看護の発展的な実習を、

凡例

基礎科目	留学生科目	AP、CPDとの関係	情報リテラシー系科目との関係
主眼科目	必修科目	地理系科目との関係	健康系科目との関係
専門基本科目	選択科目	経営系科目との関係	地域応用性科目、産業界企業PBL科目、卒業研究科目へのなり
専門履修科目	社会調査系科目との関係		

凡例

基礎科目	留学生科目	AP、CPDとの関係	情報リテラシー系科目との関係
主眼科目	必修科目	地理系科目との関係	健康系科目との関係
専門基本科目	選択科目	経営系科目との関係	地域応用性科目、産業界企業PBL科目、卒業研究科目へのなり
専門履修科目	社会調査系科目との関係		

2025年度履修系統図・カリキュラムマップ(公衆衛生看護学専攻科)

【專門基本科目群】

【專門展開科目群】

CP1	専門基本科目群と専門展開科目群の教育内容を関連づけて講義・演習・実習科目を配置し、知識と学習態度を統合できるような学習とする。
	① 経済学、法、医療や保健に関する統計、政策や行政など公衆衛生看護活動を展開する上での基礎的な素養を養成することを目指す。
	② 地域及び地域を構成する人々を対象とした公衆衛生看護の健康危機管理、学校保健活動、健康危機管理等、公衆衛生看護活動に関する専門知識、技術を高める科目を配置する。
	③ 地域の健康水準を高めるために、多職種との協働、社会資源の開発、施策及びシステム化の能力を高める科目を配置する。
CP2	公衆衛生看護の実践能力を高めるために、実践的な事例を用いたシミュレーション教育や地域保健に活動する専門職や地域の方々と学生が体験を取り入れる。
CP3	学生の主体性を育み、グループディスカッションや体験学習等の能動的な学び方を導入する。
実施方法	①これまでで看護学の学びを基盤として、さらに1年間で公衆衛生看護学を深く学ぶ、専門的な知識や技術を修得し、専門的立場から看護職として活躍する場を広げます。
	②学生が主体的に実習に取り組むより、自らの学習意欲を明確化する能力や、地域の現状を理解する理解する方法を修得します。継続的に公衆衛生看護活動を展開することによって、保険時に必要な知識や技術、態度とともに美的な能力を身に付けます。
	③きめ細かな教育、指導体制により、学生一人ひとりの関心や問題意識に合わせて教育を行います。また、学生を通じた、幅広い考え方や学習を通して、創造力、コミュニケーションスキルを修得します。
	④公衆衛生看護学専攻科の履修科目の他に、既設の理学療法部、医療健康学部や人間文化学部等の関係機関で履修可能なことで、これにより、保健、医療、福祉の多職種連携の基礎、より専門性の高い保健師に必要なとなる幅広い知識を修得します。
	⑤演習・実習科目は、通年で開講されます。

指定科目の教育内容	専門基本科目群	専門基本科目群	専門展開科目群
	1年		
	I		II
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論 【1,2,3,4,5】		
個人・家族・集団・組織の支援 公衆衛生看護活動展開論 公衆衛生看護管理論		地域看護診断【1,2,3,4,5】 地域看護診断演習【1,2,3,4,5】 家族・対象別公衆衛生看護展開論 【1,2,3,4,5】 家族・対象別公衆衛生看護展開論 演習【1,2,3,4,5】 地域公衆衛生看護活動論 【1,2,3,4,5】 地域公衆衛生看護活動論演習 【1,2,3,4,5】 産業保健活動論【1,2,3,4,5】 地域保健フィールド演習【1,2,3,4,5】 地域健康危機管理論【1,2,3】	地域看護診断演習【1,2,3,4,5】 家族・対象別公衆衛生看護展開論 演習【1,2,3,4,5】 地域公衆衛生看護活動論演習 【1,2,3,4,5】 地域保健フィールド演習【1,2,3,4,5】 地域と看護【1,2,5】 保健活動共創論【1,4,5】
	疫学	疫学【1,3,5】	
	保健統計学	保健統計学【1,3,5】	
	保健医療福祉行政論	保健医療福祉行政論Ⅰ（基礎） 【1,2,4】 保健医療福祉行政論Ⅱ（応用） 【1,2,4】	
	個人・家族・集団・組織の支援実習 公衆衛生看護活動展開論実習 公衆衛生看護管理論実習		家族・対象別継続支援実習 【1,2,3,4,5】 地域・ヘルスプロモーション実習 【1,2,3,4,5】

DP 1
地域そのものを看護の対象として捉え、様々な環境の中で暮らす人々の健康課題を明確化し、解決・改善策を計画・立案・実施・評価できる能力を身につけている。

DP 2
地域住民が自らの健康状態を認識し、健康の保持増進を図れるよう支援することともに、人々が自主的に社会資源を活用できるよう支援し、これら成果を評価できる能力を身につけている。

DP 3
健康危機管理体制を整え、健康危機の発生時から回復期の健康課題を早期に見出し、迅速かつ組織的に対応できる能力を身につけている。

DP 4
地域の健康水準を高めるために、保健・医療・福祉サービスを調整して多職種連携し、活用する能力及び地域の健康課題の解決に必要な社会資源を開発し、施策化及びシステム化することができる。

DP 5
保健・医療・福祉及び社会に関する最新の知識・技術を主体的・継続的に学び、コミュニケーション能力を備えて実践することができる。

金城大学教学委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、金城大学管理運営規程第4条第3項に規定する教学委員会（以下、「委員会」という。）の構成及び運営について、必要な基本的事項を定めることを目的とする。

(役割)

第2条 委員会は、教務及び学生の厚生補導に関する基本方針並びに次の各号に掲げる事項について審議し、教授会又は大学運営委員会に報告するものとする。

- (1) 学生の入学資格に関する事項
- (2) 学生の学籍及び学籍異動に関する事項
- (3) 学生の賞罰に関する事項
- (4) 教育課程に関する事項
- (5) 学年歴に関する事項
- (6) 授業計画及び運用に関する事項
- (7) 学生の学習に関する事項
- (8) 定期試験、追試験及び特別試験に関する事項
- (9) 各種資格に関する事項
- (10) 学生の生活指導に関する事項
- (11) 学生の健康管理に関する事項
- (12) 学生の課外活動及び行事に関する事項
- (13) 学生の奨学援助に関する事項
- (14) その他教務及び学生の厚生補導に関する事項

(構成)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 教学委員長（以下、「委員長」という。）
 - (2) 教学支援事務部長又は相当の職にある者
 - (3) 学長が任命した職員
- 2 教学支援部長は委員会に出席し発言することができる。
- 3 委員長は、必要に応じて関係ある職員の出席を求めることができる。

(任期)

第4条 前条第1項第3号の委員の任期は、1年とし、再任を妨げないものとする。ただし、任期の途中において退任した委員の後任者の任期は、その残任期間とする。

(所管)

第5条 委員会の事務は、教学支援部が所管する。

(招集)

第6条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

2 議長事故あるときは、あらかじめ委員長が指名した者がこれに代わる。

(定足数)

第7条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ開催することができない。

2 委員長は、やむを得ない理由により委員会の招集が困難な場合、委員会の招集を行わず、書面又は電磁的記録により委員全員の同意を得ることにより、委員会の決議に代えることができる。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、教授会の議を経て学長が行う。

附 則

1 この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

2 金城大学教務委員会規程（平成 19 年 4 月 1 日改正施行）及び金城大学学生委員会規程（平成 25 年 9 月 25 日改正施行）は、廃止する。

附 則

この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 30 年 9 月 25 日から施行する。

金城大学自己点検・評価委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、自己点検・評価委員会（以下「委員会」という。）の構成及び運営について必要な基本事項を定めることを目的とする。

(役割)

第2条 委員会は、金城大学点検・評価に関する規程に基づき、金城大学（以下「本学」という。）の教育研究水準の向上を図り、その目的及び責任を達成するため、教育研究活動及び管理運営等に関する自己点検・評価を、大学運営委員会とともに統括し、推進する。

2 自己点検・評価は、本学の選定する認証評価機関の評価に適合することを考慮しながら、実施するものとする。

3 委員会は、特定の事項に関し専門的見地から自己点検・評価を行うため、小委員会を設置することができる。

(任務)

第3条 委員会は、以下の各号の事項を行う。

- (1) 自己点検・評価項目の設定
- (2) 自己点検・評価の実施計画の策定
- (3) 自己点検・評価の分析
- (4) 自己点検・評価結果に基づく改善措置の策定
- (5) 自己点検・評価結果の教授会への報告
- (6) その他自己点検・評価に関する必要事項

(構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 自己点検・評価委員長（以下「委員長」という。）
- (2) 学長が任命した教育職員
- (3) 総務企画部長又は相当の職にある者
- (4) その他学長が必要と認める者

2 委員長は、必要に応じて関係ある職員の出席を求めることができる。

(任期)

第5条 前条第1項第2号の委員の任期は1年とし、再任を妨げないものとする。ただし、任期の途中において退任した構成員の後任者の任期は、その残任期間とする。

(所管)

第6条 委員会の事務は、総務企画部が行う。

(招集)

第7条 委員長は委員会を招集し、その議長となる。

2 議長事故あるときは、あらかじめ委員長が指名した者がこれに代わる。

(定足数)

第8条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ開催することができない。

2 委員長は、やむを得ない理由により委員会の招集が困難な場合、委員会の招集を行わず、書面又は電磁的記録により委員全員の同意を得ることにより、委員会の決議に代えることができる。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、教授会の議を経て学長が行う。

附 則

この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 30 年 10 月 16 日から施行する。

大学等名	金城大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	数理・データサイエンス・AIリテラシープログラム	申請年度	令和8年度

取組概要											
目的	今後のデジタル社会において、データやAIを適切に理解し活用するための基礎的素養を身に付けること。										
身に付けることができる能力	① データ・AI活用領域の広がりを理解し、データ活用の意義や課題を説明できる。 ② データを適切に読み解き、適切な可視化手法を選択し、他者にデータを説明できる。 ③ データを適切に利活用するためには、客観的な事実を確認したうえで利用することが重要であることを理解できる。										
科目の構成・ 修了要件	<table><tr><th>学部</th><th>対象科目【全ての科目を単位修得】</th></tr><tr><td>人間社会科学部</td><td>情報処理演習Ⅰ：1単位、1年後期 データサイエンス：1単位、2年後期</td></tr><tr><td>医療健康学部</td><td>情報処理演習：1単位、1年前期 データサイエンス：1単位、1年後期</td></tr><tr><td>看護学部</td><td>情報処理演習：1単位、1年前期 データサイエンス：1単位、1年後期</td></tr><tr><td>総合経済学部</td><td>コンピュータ・リテラシー：1単位、1年前期 データサイエンスⅠ（データサイエンスの基礎）：2単位、1年後期</td></tr></table>	学部	対象科目【全ての科目を単位修得】	人間社会科学部	情報処理演習Ⅰ：1単位、1年後期 データサイエンス：1単位、2年後期	医療健康学部	情報処理演習：1単位、1年前期 データサイエンス：1単位、1年後期	看護学部	情報処理演習：1単位、1年前期 データサイエンス：1単位、1年後期	総合経済学部	コンピュータ・リテラシー：1単位、1年前期 データサイエンスⅠ（データサイエンスの基礎）：2単位、1年後期
学部	対象科目【全ての科目を単位修得】										
人間社会科学部	情報処理演習Ⅰ：1単位、1年後期 データサイエンス：1単位、2年後期										
医療健康学部	情報処理演習：1単位、1年前期 データサイエンス：1単位、1年後期										
看護学部	情報処理演習：1単位、1年前期 データサイエンス：1単位、1年後期										
総合経済学部	コンピュータ・リテラシー：1単位、1年前期 データサイエンスⅠ（データサイエンスの基礎）：2単位、1年後期										